プログラム

一般演題(口頭)

International Session(Oral)

一般演題(ミニオーラル)

演題番号(一般演題(口頭/ミニオーラル)

21 - 9 - O01 - 1

21：発表日　9：会場　O01：セッション番号　1：セッション内での発表順

O01*

[*]＝優秀演題候補セッション

発表日

21：11月21日(土)
22：11月22日(日)
23：11月23日(月・祝)

会場

9：第9会場
10：第10会場
12：第12会場
17：第17会場
M1：ミニオーラル会場1
M2：ミニオーラル会場2
M3：ミニオーラル会場3
M4：ミニオーラル会場4
M5：ミニオーラル会場5
M6：ミニオーラル会場6

11月21日(土)　　第9会場（ホテル日航金沢　3F　孔雀の間A）

一般演題(口頭)1　　9:30〜10:30

がん薬物療法(制吐支持療法)

座長：桂　敏也（立命館大学薬学部）
北出　紘規（加賀市医療センター薬剤室）

21-9-O01-1　**トラスツズマブ デルクステカン投与時の2剤制吐療法へのオランザピンまたはホスネツピタントの上乗せ効果の比較検討**

○野田　拓誠[1]、上野　真歩[1]、松岡　明希[1]、岡崎　晴夏[1]、宮城　和代[1]、長谷川　英利[1]、村津　圭治[1]、田邨　保之[1]、河合　実[1]、八十島　宏行[2]
[1]大阪医療センター薬剤部、[2]大阪医療センター乳腺外科

21-9-O01-2　**乳癌EC療法におけるホスネツピタント・オランザピン併用4剤制吐療法の有効性と忍容性の検討：単施設前向き観察研究**

○樋口　文子[1]、厚井　裕三子[2]、前田　祐香[1]、橋口　麻依子[3]、田中　亜弥[4]、衛藤　智章[5]、徳永　えり子[2]、松元　俊博[1]
[1]NHO九州がんセンター薬剤部、[2]NHO九州がんセンター乳腺科、[3]国立がん研究センター東病院薬剤部、[4]NHO九州医療センター薬剤部、[5]NHO小倉医療センター薬剤部

21-9-O01-3　**ナノリポソーム型イリノテカン＋フルオロウラシル/レボホリナート療法におけるNK$_1$受容体拮抗薬と嘔吐完全抑制・血糖変動との関連**

○阿部　麗菜、寺田　公介、渡部　大介、浅野　智央、齋藤　義正、橋本　浩伸
国立がん研究センター中央病院薬剤部

21-9-O01-4　**R-MPV療法における制吐療法の有効性と嘔吐完全制御未達成のリスク因子の検討：単施設後ろ向きコホート研究**

○内田　直宏[1]、藤井　彩里穂[1]、中島　遥[1]、奈良　克彦[1]、藏田　玲美[1]、山本　武人[1]、本田　晃[2]、志村　有香[2]、黒川　峰夫[2]、高田　龍平[1]
[1]東京大学医学部附属病院薬剤部、[2]東京大学医学部附属病院血液・腫瘍内科

21-9-O01-5　**石川県における制吐療法の実態と課題：多施設アンケート調査**

○瀧本　真紀[1,17]、吉田　宗弘[2,17]、桂　英之[3,17]、熊谷　要[4,17]、高倉　美穂[5,17]、田村　健吾[6,17]、西山　由紀子[7,17]、堀　祐貴[8,17]、宮永　和美[9,17]、安藤　友貴[10,17]、大屋　正宏[11,17]、猿谷　淳[12,17]、三辻　淳弥[13,17]、有原　大貴[14,17]、池田　真菜[15,17]、茶野下　貴恵[16,17]、笹山　潔[2,17]
[1]公立能登総合病院薬剤部、[2]浅ノ川総合病院薬剤部、[3]小松市民病院薬剤科、[4]金沢赤十字病院薬剤部、[5]恵寿金沢病院薬剤科、[6]公立松任石川中央病院薬剤室、[7]金沢医療センター薬剤部、[8]金沢大学附属病院薬剤部、[9]加賀市医療センター薬剤室、[10]芳珠記念病院薬剤部、[11]珠洲市総合病院薬局、[12]KKR北陸病院薬剤科、[13]石川県立中央病院薬剤部、[14]金沢大学医薬保健研究域薬学系臨床薬学研究室、[15]金沢医科大学病院薬剤部、[16]石川県済生会金沢病院薬剤部、[17]石川県病院薬剤師会がん治療委員会

一般演題(口頭)5　　10:30〜11:30

がん薬物療法(副作用対策)1

座長：桂　敏也（立命館大学薬学部）
北出　紘規（加賀市医療センター薬剤室）

21-9-O05-1　**切除不能進行非小細胞肺がん患者における治療前悪液質および治療中に発現する悪液質が予後に与える影響**

○安藤　詩乃[1]、藤井　宏典[1]、纐纈　菜月[2]、可児　美紗都[2]、廣瀬　智恵美[1]、山田　友奈美[1]、大畑　紘一[1]、飯原　大稔[1]、小林　亮[1,2]、鈴木　昭夫[1,2]
[1]岐阜大学医学部附属病院薬剤部、[2]岐阜薬科大学先端医療薬学研究室

21-9-O05-2　末梢血好酸球割合はEnfortumab vedotinによる有害事象を予測するバイオマーカーとなる

○小田切　州広[1,2]、森川　敏治[3]、内木　拓[3,4]、杉山　洋介[1,2]、田崎　慶彦[1,2]、三村　佳久[2]、内木　綾[5]、永井　隆[3]、惠谷　俊紀[3]、飯田　啓太郎[3]、石川　大樹[3]、野田　祐介[3,6]、清水　伸彦[3]、青木　マリア[3,4]、権田　将一[3]、阪野　里花[7]、窪田　裕樹[8]、安藤　亮介[3]、梅本　幸裕[3,4]、河合　憲康[3]、堀田　祐志[1,2]、安井　孝周[3]、日比　陽子[1,2]
[1]名古屋市立大学病院薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学分野、
[3]名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学、[4]名古屋市立大学医学部附属西部医療センター泌尿器科、
[5]名古屋市立大学大学院医学研究科実験病態病理学、[6]JA愛知厚生連安城更生病院泌尿器科、
[7]JA愛知厚生連江南厚生病院泌尿器科、[8]JA愛知厚生連海南病院泌尿器科

21-9-O05-3　進行・再発食道癌に対するICI+FP療法の携帯型持続注入ポンプを用いた外来治療戦略の有用性　－治療継続性及び予後への影響－

○中村　大学[1]、近藤　勝弘[2,3]、植家　晴紀[1]、今井　友香莉[1]、早川　俊輔[4]、小川　了[4]、堀田　祐志[1,3]、日比　陽子[1,3]
[1]名古屋市立大学病院薬剤部、[2]名古屋市立大学医学部附属病院東部医療センター薬剤部、
[3]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学、[4]名古屋市立大学大学院医学研究科消化器外科学

21-9-O05-4　固形腫瘍における腫瘍崩壊症候群のリスク管理を最適化する簡易予測スコア「LUSh-IV」の有用性

○近藤　勝弘[1,2]、井口　祐美子[1]、堀田　祐志[2,3]、安藤　亮介[4]、日比　陽子[2,3]、小松　弘和[5,6]
[1]名古屋市立大学医学部附属東部医療センター薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学、
[3]名古屋市立大学病院薬剤部、[4]名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学、
[5]名古屋市立大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学、[6]名古屋市立大学病院臨床腫瘍部

21-9-O05-5　固形癌骨転移患者における骨修飾薬導入時期と骨関連事象の関連：ランドマーク解析および傾向スコアマッチングを用いた後向き研究

○池田　樹生[1]、二瓶　哲[1,2]、齋藤　一樹[1]、佐藤　淳也[3]、工藤　賢三[1,2]
[1]岩手医科大学附属病院薬剤部、[2]岩手医科大学薬学部臨床薬学講座臨床薬剤学分野、
[3]湘南医療大学薬学部薬物治療学研究室

一般演題（口頭）9　13:20～14:20

がん薬物療法（副作用対策）2

座長：玉木　慎也（KKR札幌医療センター薬剤科）
佐野　元彦（星薬科大学臨床評価学研究室）

21-9-O09-1　THP療法におけるデキサメタゾン投与順序変更がIR発生頻度に及ぼす影響

○大立目　和弥[1]、相神　智宏[1]、島　彰宏[2]、山崎　将英[1]、藤居　賢[1]、福土　将秀[1]
[1]札幌医科大学附属病院薬剤部、[2]札幌医科大学医学部外科学講座乳腺・内分泌外科学分野

21-9-O09-2　進行乳がん患者における血清アルブミン値とTrastuzumab Deruxtecanによる Grade3以上の有害事象との関係

○今井　悠莉[1]、三村　佳久[1,2]、飯田　萌子[1,2]、小田切　州広[1,2]、田崎　慶彦[1,2]、伊藤　菜浪[1,2]、大山　由依[1]、杉山　洋介[1,2]、鰐渕　友美[3]、堀田　祐志[1,2]、遠山　竜也[3]、日比　陽子[1,2]
[1]名古屋市立大学病院薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学分野、
[3]名古屋市立大学大学院医学研究科乳腺外科学分野

21-9-O09-3　周術期乳がん化学療法におけるドセタキセルによる皮膚障害に及ぼすG-CSFの影響

○阿部　礼奈、槙原　克也、金剛　圭佑、基村　佳世、木本　大樹、松村　友和
淀川キリスト教病院薬剤部

21-9-O09-4　ゲムシタビン・シスプラチン療法中のヒアルロン酸濃度と血小板数の関係について

○宮下　奈凡[1]、水野　智博[1]、金森　桂太郎[2]、田中　友規[3]、伊藤　辰将[3]、竹内　章人[4]、高橋　和男[5]、坪井　直毅[3]、高原　健[4]、山田　成樹[1]
[1]藤田医科大学医学部薬物治療情報学、[2]名城大学薬学部医薬品情報学、[3]藤田医科大学医学部腎臓内科学、[4]藤田医科大学医学部泌尿器科学、[5]藤田医科大学医学部生体構造学

21-9-O09-5　化学療法患者におけるHBV再活性化予防に対する当院PBPM運用の導入効果

○甲本　駿介、本田　恭子、島田　萌子、森下　晏、森下　惠、水野　宏昭
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院薬剤部

一般演題(口頭)13　14:20〜15:20

がん薬物療法(副作用対策)3

座長：玉木　慎也（KKR札幌医療センター薬剤科）
佐野　元彦（星薬科大学臨床評価学研究室）

21-9-O13-1　切除不能腎細胞がんに対するマルチキナーゼ阻害薬初回治療における蛋白尿発症因子の解析

○山下　慎介[1,2]、齋藤　佳敬[3]、柏木　仁[4]、佐藤　夕紀[4]、今井　俊吾[4,5]、梨本　俊亮[4]、宮田　遥[6]、松本　隆児[6]、大澤　崇宏[7]、安部　崇重[6]、菅原　満[2,4]、武隈　洋[2]
[1]北海道大学大学院生命科学院、[2]北海道大学病院薬剤部、[3]北海道科学大学薬学部、[4]北海道大学大学院薬学研究院、[5]慶應義塾大学薬学部、[6]北海道大学病院泌尿器科、[7]新潟大学病院泌尿器科

21-9-O13-2　肺がん治療薬EGFR-TKI 4剤の各血清クレアチニンの上昇に及ぼす血中濃度とOCT2遺伝子多型の影響

○横田　隼人[1]、佐藤　一洋[2]、坂本　祥[2]、奥田　佑道[2]、竹田　正秀[2]、赤嶺　由美子[1]、中山　勝敏[2]、三浦　昌朋[1,3]
[1]秋田大学医学部附属病院薬剤部、[2]秋田大学大学院医学系研究科呼吸器内科学講座、[3]秋田大学大学院医学系研究科薬物動態学講座

21-9-O13-3　シスプラチン関連急性腎障害の持続期間と慢性腎臓病リスクとの関連：単施設後ろ向き観察研究

○齋藤　一樹[1,2]、二瓶　哲[1,2]、朝賀　純一[1,2]、工藤　賢三[1,2]
[1]岩手医科大学附属病院薬剤部、[2]岩手医科大学薬学部臨床薬学講座臨床薬剤学分野

21-9-O13-4　血清クレアチニン低値患者におけるカルボプラチン誘発血小板減少リスクの二極化：IPTW法を用いたBMI層別後方視的研究

○槙原　克也、岡崎　瑞紀、上浦　順子、大西　涼香、松田　美里、木本　大樹、大谷　悠子、杉山　雄輝、杉田　裕貴、松村　友和
淀川キリスト教病院薬剤部

21-9-O13-5　高用量メトトレキサート療法における排出遅延リスク因子の検討

○基村　佳世、槙原　克也、金剛　圭佑、松村　友和
淀川キリスト教病院薬剤部

一般演題（口頭）17　15:40～16:40

がん薬物療法（副作用対策）4

座長：後藤　一美（聖路加国際病院薬剤部）
高木　昭佳（富山大学附属病院薬剤部）

21-9-O17-1　オキサリプラチン誘発末梢神経障害に対するDPP-4阻害薬およびイメグリミンの抑制効果に関する研究

○河良　優介[1]、峯　圭佑[1,2]、藤田　隼輔[1]、川尻　雄大[1,2]、森　裕介[1,2]、上田　真実[1]、金子　莉沙[1]、神谷　優菜[1]、廣田　豪[2,3]、内田　まやこ[2]、小林　大介[1]
[1]九州大学大学院薬学研究院臨床育薬学分野、[2]九州大学病院薬剤部、
[3]長崎大学生命医科学域（薬学系）実践薬学分野

21-9-O17-2　SGLT2阻害薬はシスプラチン累積腎毒性を軽減する可能性がある 一後方視的観察研究一

○中村　翠[1]、中澤　佑介[1]、川久保　孝[1]、宇和川　匡[2]
[1]東京慈恵会医科大学付属病院薬剤部、[2]東京慈恵会医科大学付属病院腫瘍センター

21-9-O17-3　タモキシフェン関連肝障害に対するビタミンD3の有用性の検討

○岡本　尚大[1,2]、合田　光寛[1,3]、河野　豊[4]、高橋　志門[1,2]、井上　貴久[1,2]、小川　敦[2,5]、堀川　伊和[1,2]、相澤　風花[1,6]、新村　貴博[1,6]、川田　敬[1,2]、櫻田　巧[1,2]、桐野　靖[1,2]、高田　弘一[4]、石澤　啓介[1,2,5,6]
[1]徳大院医歯薬学臨床薬理学、[2]徳大病薬剤部、[3]広大院医系科学臨床薬理学、[4]札医大医腫瘍内科学、
[5]徳大院医歯薬学地域医療薬学、[6]徳大病臨床研究推進部

21-9-O17-4　悪性リンパ腫患者に対するDoxorubicinにおける左室駆出率の変化に対するβ遮断薬による抑制効果を検討した後方視的調査

○石田　貴啓、高橋　弘泰、鈴木　大介、高嶋　祥匡、冨田　敦和、成瀬　国男
JA愛知厚生連海南病院

21-9-O17-5　肺がん患者の免疫チェックポイント阻害薬誘発性間質性肺疾患に対する酪酸菌製剤の発症抑制効果

○安田　果奈、宮浦　茉奈、有原　大貴、渡辺　宏晃、石田　奈津子、嶋田　努、石崎　純子、菅　幸生
金沢大学医薬保健学域薬学系臨床薬学研究室

一般演題（口頭）21　16:40～17:40

がん薬物療法（副作用対策）5

座長：後藤　一美（聖路加国際病院薬剤部）
高木　昭佳（富山大学附属病院薬剤部）

21-9-O21-1　S-1による眼障害のリスク因子に関するがん種横断的検討

○後藤　総太郎[1,3]、貞任　大地[2]、米持　美音[1]、浅羽　遼[1]、松尾　拓馬[1]、植草　秀介[3]、松尾　和廣[3]、山村　康比古[1]
[1]地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立駒込病院薬剤科、
[2]地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立駒込病院臨床研究・治験センター、[3]東邦大学薬学部臨床薬学教室

21-9-O21-2　5%ブドウ糖液で希釈した液体製剤ゲムシタビンによる血管痛のリスク因子の探索

○鳥山　竜也[1]、齋藤　佳敬[2]、内山　数貴[1]、武隈　洋[1]、小松　嘉人[3]、菅原　満[1,4]
[1]北海道大学病院薬剤部、[2]北海道科学大学薬学部、[3]北海道大学病院腫瘍センター、
[4]北海道大学大学院薬学研究院

21-9-O21-3　大腸がんに対するオキサリプラチンレジメンにおける重度好中球減少のリスク因子の探索

○斉ノ内　玲伊[1]、村上　えり[1]、齋藤　佳敬[2]、坂本　達彦[1]、谷口　理[1]、武隈　洋[1]、小松　嘉人[3]、菅原　満[1,4]
[1]北海道大学病院薬剤部、[2]北海道科学大学薬学部、[3]北海道大学病院消化器内科、
[4]北海道大学大学院薬学研究院薬物動態解析学研究室

21-9-O21-4　パクリタキセル誘発性好中球減少症に対する血清ビリルビン値の投与量別リスク評価

○富安　直弥[1]、前田　章光[1]、原　文堅[2]、鈴木　史朗[3]、室　圭[4]、花井　信広[5]、藤原　豊[6]、原　和生[7]、小島　崇宏[8]、筑紫　聡[9]、松尾　恵太郎[10]、田近　正洋[11]
[1]愛知県がんセンター薬剤部、[2]愛知県がんセンター乳腺科部、[3]愛知県がんセンター婦人科部、
[4]愛知県がんセンター薬物療法部、[5]愛知県がんセンター頭頸部外科部、[6]愛知県がんセンター呼吸器内科部、
[7]愛知県がんセンター消化器内科部、[8]愛知県がんセンター泌尿器科部、[9]愛知県がんセンター整形外科部、
[10]愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野、[11]愛知県がんセンター内視鏡部

21-9-O21-5　切除可能膵癌に対する術後補助化学療法の忍容性に影響する因子の検討

○須藤　大雄[1]、藤田　杏[2]、酒井　響基[2]、村松　真凜[3]、若松　遼介[3]、若松　綾華[3]、桂川　みき[3]、棚谷　貢[3]、樋浦　一哉[2]
[1]JA北海道厚生連旭川厚生病院薬剤部、[2]北海道科学大学薬学部、[3]JA北海道厚生連札幌厚生病院薬剤部

11月21日(土)　　第10会場（ホテル日航金沢　3F　孔雀の間B）

一般演題(口頭)2　　9:30〜10:30

優秀演題候補セッション1

座長：佐野　俊治（日本製薬工業協会医薬品評価委員会(MSD株式会社)）
石本　尚大（金沢大学附属病院薬剤部）

21-10-O02*-1　肺移植後の腎機能低下に及ぼすヘマトクリット値およびタクロリムス血中濃度の影響

○勝部　友理恵[1]、片田　佳希[1]、石村　裕樹[1]、大澤　太河[1]、梅村　圭祐[1]、國津　侑貴[1]、幾田　慧子[1]、今吉　菜月[1]、重面　雄紀[1]、平　大樹[1,2]、中川　俊作[1]、田中　里奈[3]、中島　大輔[3]、芳川　豊史[3]、寺田　智祐[1]
[1]京都大学医学部附属病院薬剤部、[2]京都大学大学院薬学研究科、[3]京都大学医学部附属病院呼吸器外科

21-10-O02*-2　NICUにおけるバンコマイシンのTDMに関する研究 -BMs-Podを用いた母集団薬物動態モデルの比較と薬剤師介入の効果-

○瀬戸口　誠[1]、中村　成志[1]、尾田　一貴[2]、福元　裕介[1]、東　和博[1]、有馬　純子[1]
[1]鹿児島市立病院薬剤部、[2]熊本大学病院薬剤部

21-10-O02*-3　新生児におけるceftazidimeの母集団薬物動態と抗菌薬関連脳症を考慮した投与法の最適化

○内海　佑介[1,2]、大仁田　哲修[1]、猪川　和朗[3]、石原　慎之[1]、玉木　宏樹[1]、八木　健太[1]、吉田　優哉[2]、松永　直哉[2]、矢野　貴久[1]
[1]島根大学医学部附属病院薬剤部、[2]九州大学大学院薬学府薬物動態学分野、[3]広島大学大学院医系科学研究科

21-10-O02*-4　母集団薬物動態解析に基づく自己免疫疾患患者におけるミコフェノール酸の血中濃度変動因子の探索

○梨本　俊亮[1]、宮前　祐士[2]、小野寺　駿[2]、菅原　満[1,2]、武隈　洋[2]
[1]北海道大学大学院薬学研究院薬物動態解析学研究室、[2]北海道大学病院薬剤部

21-10-O02*-5　実臨床におけるエドキサバンの投与量調節因子の該当数による薬物動態学的・薬力学的影響

○渡邉　愛未[1]、畠添　咲希子[1,2]、平　大樹[1,2]、佐藤　裕紀[1]、上島　智[3]、重面　雄紀[1]、中川　俊作[1]、寺田　智祐[1]
[1]京都大学医学部附属病院薬剤部、[2]京都大学大学院薬学研究科、[3]立命館大学薬学部薬学科

一般演題(口頭)6　10:30～11:30

優秀演題候補セッション3

座長：佐野　俊治（日本製薬工業協会医薬品評価委員会(MSD株式会社)）
石本　尚大（金沢大学附属病院薬剤部）

21-10-O06*-1　ムスカリン性アセチルコリン受容体M1高親和性薬剤の機械学習による予測とFAERSを用いた副作用シグナル探索

○細谷　龍一郎[1,2]、慶　元箕[3]、寺島　朝子[1]、伊東　俊雅[3]、植沢　芳広[2]、加賀谷　肇[1]
[1]湘南医療大学薬学部臨床薬剤学研究室、[2]明治薬科大学医療分子解析学研究室、
[3]東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部

21-10-O06*-2　レミフェンタニル使用患者における術後シバリングのリスク因子の後方視的解析

○磯田　和也[1]、石本　尚大[1]、菅　幸生[2]、嶋田　努[2]、栗田　昭英[3]、谷口　巧[4]、崔　吉道[1]
[1]金沢大学附属病院薬剤部、[2]金沢大学医薬保健研究域薬学系、[3]石川県立中央病院麻酔科、
[4]金沢大学附属病院麻酔科蘇生科

21-10-O06*-3　腎臓内科におけるCKD患者へのSGLT2阻害薬処方実態と処方関連因子の解析

○澤田　真嗣、藤田　将輝、瀬下　貴大、野口　裕介
京都第二赤十字病院薬剤部

21-10-O06*-4　六君子湯の心筋保護作用および心不全患者における臨床的有用性の検討

○阿部　史葉[1,2]、赤嶺　由美子[2]、佐藤(沼田)　かお理[1]、沼田　朋大[1]
[1]秋田大学大学院医学系研究科器官・統合生理学講座、[2]秋田大学医学部附属病院薬剤部

21-10-O06*-5　抗がん薬の有効活用がもたらす温室効果ガス低減効果の検証

○小澤　遼平、新津　京介、高山　美恭、宮崎　晶子、中澤　紘、鈴木　栄、大塚　潔
自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部

一般演題(口頭)10　13:20～14:20

優秀演題候補セッション5

座長：矢野　育子（神戸大学医学部附属病院薬剤部）
紀平　哲也（厚生労働省医薬局医薬品審査管理課）

21-10-O10*-1　アミバンタマブによるインフュージョンリアクション発現に対するリスク因子の検討

○高木　優香[1]、横井　茉里[2]、今吉　菜月[1]、平　大樹[1,3]、山下　日菜子[1]、吉田　博徳[4]、野溝　岳[5]、重面　雄紀[1]、野村　久祥[1]、小笹　裕晃[4]、寺田　智祐[1]
[1]京都大学医学部附属病院薬剤部、[2]京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター、
[3]京都大学大学院薬学研究科、[4]京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学、
[5]京都医学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座

21-10-O10*-2　アベルマブ関連Infusion Reactionのリスク因子に関する多施設共同後ろ向き研究

○梅原　健吾[1]、中村　勝之[2]、菅野　亮太[3]、今多　亮介[4]、宇野　健一[5]、高橋　健太[6]、中嶋　紘文[7]、若松　遼介[8]、坂本　達彦[3]、菅原　満[3]、原林　透[9]、川口　啓之[1]、齋藤　佳敬[10]
[1]NHO北海道がんセンター薬剤部、[2]札幌医科大学附属病院薬剤部、[3]北海道大学病院薬剤部、
[4]手稲渓仁会病院薬剤部、[5]岩見沢市立病院薬剤部、[6]NTT東日本札幌病院薬剤科、[7]市立函館病院薬剤部、
[8]札幌厚生病院薬剤部、[9]NHO北海道がんセンター泌尿器科、[10]北海道科学大学薬学部臨床薬剤学分野

21-10-O10*-3　トラスツズマブ+ペルツズマブ+ドセタキセル 初回導入時におけるインフュージョンリアクション対策の検討

○中垣　繁[1]、松沼　亮一[2]、加賀　麻友美[3]、祖父江　彰[4]、櫻井　和子[1]、常泉　道子[2]
[1]静岡県立総合病院薬剤部、[2]静岡県立総合病院乳腺外科、[3]東京歯科大学市川総合病院薬剤部、
[4]静岡赤十字病院薬剤部

21-10-O10*-4　進行肝細胞癌におけるICI併用療法の最適選択：ターゲットトライアルエミュレーション解析

○白石　ちひろ[1]、井上　竜一[2]、兼重　晋[2]、牛尾　聡一郎[1]、林　稔展[1]、江川　孝[1]
[1]福岡大学薬学部健康危機管理薬学研究室、[2]福岡大学病院薬剤部

21-10-O10*-5　大規模言語モデルを用いた乳がん患者SNSにおける治療経過に沿った有害事象推移の可視化

○柳澤　友希[1]、河口　佳典[1]、土屋　雅美[1]、久村　颯海[1]、木崎　速人[1]、今井　俊吾[1]、西山　智弘[2]、荒牧　英治[2]、上田　暢子[3]、淀川　知子[3]、堀　里子[1]
[1]慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座、[2]奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科、[3]一般社団法人ピアリング

一般演題(口頭)14　14:20〜15:20

優秀演題候補セッション7

座長：矢野　育子（神戸大学医学部附属病院薬剤部）
紀平　哲也（厚生労働省医薬局医薬品審査管理課）

21-10-O14*-1　免疫チェックポイント阻害薬関連肺障害の重症度評価におけるMCP-3の有用性

○横井　茉里[1,2]、村上　孝作[2,3]、平　大樹[1,4]、米澤　淳[1,5]、小笹　裕晃[6]、吉田　博徳[6]、山下　富義[4]、佐藤　勇樹[2]、吉田　亜希子[2]、塚本　博丈[2]、寺田　智祐[1]
[1]京都大学医学部附属病院薬剤部、[2]京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター、[3]京都大学医学部附属病院免疫・膠原病内科、[4]京都大学大学院薬学研究科、[5]慶應義塾大学薬学部統合臨床薬理学講座、[6]京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学

21-10-O14*-2　irAE心筋炎発症後の心筋トロポニンT モニタリングと臨床転帰の関連

○永久保　真由、渋谷　悠真
国立がん研究センター東病院薬剤部

21-10-O14*-3　IO＋TKI併用療法における好酸球数増加とirAEとの関連

○冨田　実里[1,2]、田崎　慶彦[1,2]、濱本　周造[3]、大澤　崇宏[4]、山下　真平[5]、松本　隆児[6]、生駒　弘明[3]、河瀬　健吾[3]、三村　佳久[2]、杉山　洋介[1,2]、安井　孝周[3]、日比　陽子[1,2]
[1]名古屋市立大学病院薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学分野、[3]名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野、[4]新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野、[5]和歌山県立医科大学泌尿器科、[6]北海道大学病院泌尿器科

21-10-O14*-4　CAR-T細胞療法におけるサイトカイン放出症候群の発現時期と重症度にトシリズマブの投与が与える影響

○中村　美菜[1]、宮崎　雅之[1]、岩田　理沙[1]、寺倉　精太郎[2]、葉名尻　良[2]、若林　浩也[2]、池末　裕明[1]
[1]名古屋大学医学部附属病院薬剤部、[2]名古屋大学医学部附属病院血液内科

21-10-O14*-5　アテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法を受ける肝細胞がん患者における抗体医薬品の体内動態変動因子の探索

○飛田　征益[1]、増田　崇[2]、矢島　広大[1]、増井　翔[1]、嶋田　崇史[1,3]、ロ　バイゴウ[2]、船越　太郎[2]、堀松　高博[2]、高井　淳[2]、山本　伸也[2]、松原　雄[2]、中川　俊作[2]、池見　泰明[2]、柳田　素子[2]、妹尾　浩[2]、武藤　学[2]、寺田　智祐[2]、米澤　淳[1,2]
[1]慶應義塾大学薬学部、[2]京都大学医学部附属病院、[3]島津製作所

一般演題（口頭）18　15:40～16:40

優秀演題候補セッション9

座長：山本　康次郎（群馬大学医学部附属病院薬剤部）
松元　一明（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

21-10-O18*-1　高脂肪食によるアトピー性皮膚炎病態の増悪機構の解明～腸内環境変化と短鎖脂肪酸に着目した検討～

○五十嵐　信智[1]、田端　慶斗[1]、吉田　涼太郎[1]、篠崎　優衣[1]、永渕　詩織[1]、今　理紗子[1]、酒井　寛泰[2]、細江　智夫[3]、杉山　暁[1]、野村　幸世[1]
[1]星薬科大学医療薬学研究室、[2]星薬科大学毒性学研究室、[3]星薬科大学生物制御科学研究室

21-10-O18*-2　ビタミンD3は術後せん妄モデルマウスの認知機能障害を抑制する

○中富　杏華[1]、重面　雄紀[1]、大川　耕輝[1]、今吉　菜月[1]、三好　由希子[1]、梅村　圭祐[1]、幾田　慧子[1]、勝部　友理恵[1]、平　大樹[1,2]、中川　俊作[1]、津田　真弘[1,3]、寺田　智祐[1]
[1]京都大学医学部附属病院薬剤部、[2]京都大学大学院薬学研究科、[3]福井大学医学部附属病院薬剤部

21-10-O18*-3　食後のMagenstrasse（胃内水路）形成が及ぼす薬物の胃排出/腸吸収への影響とその定量的機構解析

○高木　大遥[1]、坂井　亮介[1,2]、丸谷　明香音[1]、原田　愛梨[2]、新井　崚平[2]、野村　鉄也[2]、小泉　直也[2]、中村　孝司[1]、玉井　郁巳[1]、白坂　義之[1,2]
[1]金沢大学医薬保健研究域薬学系、[2]昭和薬科大学薬学部

21-10-O18*-4　アナモレリンのIGF-1応答性に関連する炎症・代謝因子の探索的オミクス解析

○三村　佳久[1,2]、茶谷　亮輔[3]、内木　拓[3]、小田切　州広[1,2]、田崎　慶彦[1,2]、杉山　洋介[1,2]、堀田　祐志[1,2]、安井　孝周[3]、日比　陽子[1,2]
[1]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学分野、[2]名古屋市立大学薬剤部、
[3]名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野

21-10-O18*-5　ボリコナゾール誘発肝障害に及ぼす肝予備能低下の影響に関するrTR研究

○朝居　祐貴[1]、中野　祐樹[2]、赤松　隼人[3]、勝　弘毅[4]、篠田　康孝[5]、上田　真也[6]、並木　孝哉[7]、田代　匠[8]、座光寺　伸幸[9]、加藤　秀雄[1]、岩本　卓也[1]
[1]三重大学医学部附属病院薬剤部、[2]佐賀大学医学部附属病院薬剤部、[3]長崎大学病院薬剤部、
[4]名古屋医療センター薬剤部、[5]大垣市民病院薬剤部、[6]東京医療センター薬剤部、
[7]東京ベイ・浦安市川医療センター薬剤室、[8]金沢医療センター薬剤部、[9]静岡医療センター薬剤部

一般演題（口頭）22　16:40～17:40

優秀演題候補セッション10

座長：山本　康次郎（群馬大学医学部附属病院薬剤部）
松元　一明（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

21-10-O22*-1　大規模レセプトデータベースを用いたHIF-PH阻害薬の発がんリスク評価

○國津　侑貴[1]、野村　久祥[1]、今吉　菜月[1]、勝部　友理恵[1]、幾田　慧子[1]、平　大樹[1,2]、中川　俊作[1]、寺田　智祐[1]
[1]京都大学医学部附属病院薬剤部、[2]京都大学大学院薬学研究科

21-10-O22*-2　急性期脳梗塞に対する静注血栓溶解療法における薬剤師介入とDoor-to-Needle時間および早期神経学的改善との関連

○木元　健寛[1]、齊藤　伸[1]、瀬戸　亘[3]、齋藤　香織[4]、吹谷　真紀子[1]、吉田　泰之[2]、八代　佳子[1]
[1]秋田県立循環器・脳脊髄センター薬剤部、[2]秋田県立循環器・脳脊髄センター脳神経外科、
[3]医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院薬剤部、[4]秋田県立リハビリテーション精神医療センター薬剤部

21-10-O22*-3　小児抗菌薬適正使用支援加算の政策効果における地域差の検討：専門医密度を用いた分割時系列分析

○森　喜郎[1]、宮武　伸行[2]、森　裕香[3]、渡邊　毅[4]、森岡　久尚[1]、谷本　清隆[5]
[1]徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野、[2]香川大学医学部衛生学、
[3]香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科、[4]徳島大学大学院医歯薬学研究部予防医学分野、
[5]坂出市立病院小児科

21-10-O22*-4　*Clostridioides difficile*感染症の危険因子としての抗菌スペクトラム累積日数と治療日数の比較：多施設共同後方視的コホート研究

○八木　祐助[1,2]、前田　真之[3]、森　伸晃[4]、平出　美紀[5]、尾田　正仁[4]、山口　梢[3]、荒川　悠[2,6]、山岸　由佳[2,6]、時松　一成[4]、浜田　幸宏[1]
[1]高知大学医学部附属病院薬剤部、[2]高知大学医学部附属病院感染管理部、
[3]昭和医科大学薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門、[4]昭和医科大学医学部内科学講座臨床感染症学部門、
[5]昭和医科大学薬学部病院薬剤学講座病院薬剤学部門、[6]高知大学医学部臨床感染症学講座

21-10-O22*-5　COVID-19感染症法5類移行後の外来経口抗菌薬処方の変化：全国約5億処方解析

○和知野　千春[1,2]、近藤　勝弘[1,2]
[1]名古屋市立大学医学部附属東部医療センター薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学分野

11月21日(土)　　第12会場（ホテル日航金沢　3F　ルミエール）

一般演題(口頭)3　　**9:30〜10:30**

優秀演題候補セッション2

座長：奥田　真弘（大阪大学医学部附属病院薬剤部）
松尾　裕彰（広島大学病院薬剤部）

21-12-O03*-1　オキサリプラチン含有中等度催吐性リスクレジメン投与患者における患者関連因子と嘔吐完全制御割合の関係

○木村　沙織[1]、藏田　玲美[1]、奈良　克彦[1]、石垣　和祥[2,3]、鵜澤　友里合[1]、福田　晃史郎[3]、鈴木　伸三[3]、室野　浩司[4]、山本　武人[1]、石原　聡一郎[4]、藤城　光弘[2,3]、高田　龍平[1]
[1]東京大学医学部附属病院薬剤部、[2]東京大学医学部附属病院臨床腫瘍科、
[3]東京大学大学院医学系研究科消化器内科、[4]東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科

21-12-O03*-2　子宮頸がんCCRTにおけるステロイドスペアリング療法の臨床的検討―多施設共同・傾向スコアマッチング解析による制吐効果の評価―

○松本　拓真[1,16]、吉田　謙介[2]、中井　昌紀[3]、河村　勇介[4]、合原　嘉伸[5]、星野　直人[6]、森田　一[7]、殿村　直也[8]、番場　麻菜美[9]、山口　亜耶子[10]、橘　正毅[11]、福島　知樹[12]、細川　浩輝[13]、武良　卓哉[14]、矢吹　剛[15]、飛鷹　範明[3]、仙波　靖士[1]、渡邉　真一[16]
[1]四国がんセンター、[2]東京薬科大学、[3]愛媛大学附属病院、[4]広島市民病院、[5]佐賀大学附属病院、
[6]新潟大学医歯学総合病院、[7]聖マリアンナ医科大学病院、[8]多摩総合医療センター、[9]青森県立中央病院、
[10]山形大学附属病院、[11]長岡赤十字病院、[12]山梨大学附属病院、[13]長岡中央綜合病院、[14]浜田医療センター、
[15]魚沼基幹病院、[16]松山大学

21-12-O03*-3　子宮頸がんCCRTにおける利尿剤の違いが嘔吐に与える影響：多施設共同後ろ向き研究

○殿村　直也[1]、吉田　謙介[2]、森田　一[3]、中井　昌紀[4]、河村　勇介[5]、松本　拓真[6]、合原　嘉伸[7]、星野　直人[8]、番場　麻菜美[9]、山口　亜耶子[10]、橘　正毅[11]、福島　知樹[12]、細川　浩輝[13]、武良　卓哉[14]、矢吹　剛[15]、渡邉　真一[16]、高橋　信[1]、杉浦　宗敏[2]
[1]東京都立多摩総合医療センター薬剤科、[2]東京薬科大学、[3]聖マリアンナ医科大学病院、[4]愛媛大学医学部附属病院、
[5]広島市立広島市民病院、[6]四国がんセンター、[7]佐賀大学医学部附属病院、[8]新潟大学医歯学総合病院、
[9]青森県立中央病院、[10]山形大学医学部附属病院、[11]長岡赤十字病院、[12]山梨大学医学部附属病院、
[13]長岡中央綜合病院、[14]浜田医療センター、[15]魚沼基幹病院、[16]松山大学

21-12-O03*-4　フェスゴ固定用量皮下注製剤＋ドセタキセル療法における下痢発現因子の後方視的検討

○松村　直人、古原　優也、櫻井　紀宏、中村　安孝
大阪公立大学医学部附属病院薬剤部

21-12-O03*-5　同種末梢血幹細胞移植後におけるフィルグラスチムの24時間持続静注と3時間静注の有効性および安全性の評価

○谷口　理[1]、齋藤　佳敬[2]、荒　隆英[3]、高木　諒[4]、安保　茉由子[1]、西村　紗綾[1]、武隈　洋[1]、豊嶋　崇徳[3]、菅原　満[1,5]
[1]北海道大学病院薬剤部、[2]北海道科学大学薬学部、[3]北海道大学血液内科、
[4]北海道大学病院医療・ヘルスサイエンス研究開発機構、[5]北海道大学大学院薬学研究院

一般演題(口頭)7　10:30～11:30

優秀演題候補セッション4

座長：奥田　真弘（大阪大学医学部附属病院薬剤部）
松尾　裕彰（広島大学病院薬剤部）

21-12-O07*-1　甲状腺腫瘍に対するレンバチニブ、ダブラフェニブ・トラメチニブのアドヒアランス評価に関する前向き観察研究

○舘合　慶一[1]、川上　和宜[1,2]、福田　直樹[2]、小林　一男[1]、鈴木　亘[1]、前　勇太朗[1]、横川　貴志[3]、清水　久範[1]、竹内　資和[4]、蓮岡　健太郎[4]、中井　恵子[4]、安藤　井達[4]、高橋　俊二[2]、山口　正和[1]
[1]がん研究会有明病院薬剤部、[2]がん研究会有明病院総合腫瘍科、[3]東京薬科大学薬学部臨床薬理学教室、
[4]株式会社コラボスクエアデジタル事業推進部

21-12-O07*-2　PARP阻害薬投与時の血清クレアチニン上昇と腎機能評価に関する後方視的調査

○滝沢　大吾[1]、小別所　貴弘[1]、天崎　光[1]、岡本　花乃[1]、櫻下　弘志[1]、横大路　智治[2]、松尾　裕彰[1]
[1]広島大学病院薬剤部、[2]広島大学医系科学研究科薬物療法開発学

21-12-O07*-3　切除可能膵癌に対する術前GEM+S-1療法におけるBBT式による5-FUの推定AUCと治療成績の関連

○奈良　克彦[1]、福田　晃史郎[2]、石垣　和祥[2,3]、鈴木　辰典[2]、遠藤　剛[2]、時任　佑里恵[2]、佐藤　靖祥[3]、高原　楠昊[2]、山本　武人[1]、朴　成和[4]、藤城　光弘[2,3]、高田　龍平[1]
[1]東京大学医学部附属病院薬剤部、[2]東京大学医学部附属病院消化器内科、[3]東京大学医学部附属病院臨床腫瘍科、
[4]東京大学医科学研究所附属病院腫瘍・総合内科

21-12-O07*-4　膠芽腫に対するがん遺伝子パネル検査の臨床実装と課題

○江崎　雄仁[1,2]、北村　洋平[2]、佐々木　光[2,3]、田村　亮太[2]、河添　仁[1,4]、大谷　壽一[1,4]、植田　良[2]、戸田　正博[2]
[1]慶應義塾大学薬学部臨床薬学講座、[2]慶應義塾大学医学部脳神経外科、
[3]国際医療福祉大学市川総合病院脳神経外科、[4]慶應義塾大学医学部病院薬剤学教室

21-12-O07*-5　抗がん薬調製ロボット導入前後におけるがん薬物治療関連業務の変化：前後3時点比較による検討

○坂口　健太、佐藤　聖、黒澤　優子、八木　達也、川上　純一
浜松医科大学医学部附属病院薬剤部

一般演題(口頭)11　13:20～14:20

優秀演題候補セッション6

座長：寺田　智祐（京都大学医学部附属病院薬剤部）
中森　慶滋（石川県薬剤師会）

21-12-O11*-1　高齢パーキンソン病患者における潜在的に不適切な薬剤の増加と食事摂取量との関連性

○利安　美咲[1]、小瀬　英司[2,3]、水山　和紀[1]、深谷　寛[1]
[1]順天堂大学附属順天堂医院薬剤部、[2]順天堂大学大学院薬学研究科、[3]順天堂大学薬学部臨床薬理学分野

21-12-O11*-2　RPAを活用した腎機能低下アラートシステム導入による病棟薬剤業務への影響：分割時系列解析

○幾田　慧子[1]、片田　佳希[1]、小島　悠輔[1]、平　大樹[1,2]、森田　洋亮[1]、阪居　伸哉[1]、伊東　春香[1]、重面　雄紀[1]、津田　真弘[1,3]、中川　俊作[1]、寺田　智祐[1]
[1]京都大学医学部附属病院薬剤部、[2]京都大学大学院薬学研究科、[3]福井大学医学部附属病院薬剤部

21-12-O11*-3　機械学習による服薬アドヒアランス不良の規定因子解析：大規模全国調査に基づく多因子統合解析

○石川　修平[1]、大久保　亮[1]、鳴海　克哉[2]、小林　正紀[2]、田淵　貴大[3]、加藤　隆弘[4]
[1]北海道大学病院精神科神経科、[2]北海道大学大学院薬学研究院臨床薬剤学研究室、
[3]東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野、
[4]北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

21-12-O11*-4　明石医療センターにおける薬剤師による心不全入院患者への退院後フォローアップ個別化指標の評価

○岩崎　克也[1]、吉田　敏人[1]、山元　優輝[1]、伊藤　珠緒[1]、内藤　颯馬[2]、小椋　千絵[2]、河口　義隆[1]
[1]社会医療法人愛仁会明石医療センター薬剤科、[2]神戸薬科大学総合教育研究センター

21-12-O11*-5　慢性の循環器または内分泌疾患に罹患した高齢者に対するかかりつけ薬剤師制度の費用効用分析

○池谷　怜[1,2]、小泉　扶貴子[1]、今井　志乃ぶ[1]
[1]昭和医科大学大学院薬学研究科薬剤疫学分野、[2]国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター

一般演題（口頭）15　14:20〜15:20

優秀演題候補セッション8

座長：寺田　智祐（京都大学医学部附属病院薬剤部）
中森　慶滋（石川県薬剤師会）

21-12-O15*-1　造血細胞移植後におけるリンパ球 P-糖タンパク質機能の変動と制御因子の関連解明

○中村　尚司[1]、田島　壮一郎[1]、廣田　豪[2]、家入　一郎[3]、川尻　雄大[1]、内田　まやこ[1]
[1]九州大学病院薬剤部、[2]長崎大学薬学部、[3]国際医療福祉大学福岡薬学部

21-12-O15*-2　量子ドット/組織透明化による腸管イメージング解析：摂取水量に起因した有効表面積変動とその薬物吸収への影響

○古川　茉宏[1]、八杉　優護[1]、氷見　和己[1]、小川　哲郎[2]、友永　裕子[2]、佐々木　理渡[2]、稲葉　美海[2]、植田　泰之[4]、湯川　博[3,4]、野村　鉄也[2]、小泉　直也[2]、中村　孝司[1]、玉井　郁巳[1]、白坂　善之[1,2]
[1]金沢大学医薬保健研究域薬学系、[2]昭和薬科大学薬学部、
[3]名古屋大学未来社会創造機構ナノライフシステム研究所、[4]量子科学技術研究開発機構量子生命科学研究所

21-12-O15*-3　肝胆膵領域手術はOATP1B活性に影響を及ぼすか？

○中川　潤一[1]、長瀬　勇人[2]、若狭　悠介[3]、横山　智士[1]、上野　桂代[1]、石戸　圭之輔[2]、新岡　丈典[1,4]
[1]弘前大学医学部附属病院薬剤部、[2]弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座、
[3]弘前大学医学部附属病院消化器外科乳腺外科甲状腺外科、[4]弘前大学大学院医学研究科薬剤学講座

21-12-O15*-4　同種造血幹細胞移植患者におけるタクロリムス経口切替時のバイオアベイラビリティと消化管GVHD活動性の関連

○高比良　慎[1]、松金　良祐[1]、森　康雄[2]、山内　拓司[2]、末次　王卓[3]、グリム　理恵子[1]、永田　健一郎[1]、石田　茂[1]、川尻　雄大[1]、加藤　光次[2]、菊繁　吉兼[2]、内田　まやこ[1]
[1]九州大学病院薬剤部、[2]九州大学病院血液内科、[3]鹿児島大学病院薬剤部

21-12-O15*-5　妊婦および新生児のアリピプラゾール血中濃度を測定した2症例：新生児薬物離脱症状との関連

○中川　京[1]、土岐　浩介[1,2]、小畠　真奈[3]、濱田　洋実[3]、日高　大介[4]、高田　英俊[4,5]、本間　真人[1,2]
[1]筑波大学附属病院薬剤部、[2]筑波大学医学医療系臨床薬剤学、[3]筑波大学医学医療系産科婦人科学、[4]筑波大学附属病院小児科、[5]筑波大学医学医療系小児科

一般演題（口頭）19　15:40～16:40

精神科領域

座長：坪内　清貴（金沢大学附属病院薬剤部）
大村　友博（神戸大学医学部附属病院薬剤部）

21-12-O19-1　若年層の過量服薬支援における病院 - 薬局連携の現状と課題

○村野　萌実[1,5]、肥田　道彦[2,5]、田極　淳一[6]、渡辺　圭[1]、近藤　匡慶[1]、山口　裕太郎[2,5]、福川　摩耶[3,5]、羽田野　愛[4,5]、稲本　絵里[4,5]、斎藤　伸介[6]、山田　政人[6]、菅谷　量俊[1]、林　太祐[1]
[1]日本医科大学多摩永山病院薬剤部、[2]同精神神経科、[3]同看護部、[4]同患者支援センター、[5]同精神科リエゾンチーム、[6]南多摩薬剤師会

21-12-O19-2　精神科外来における薬剤師診察前面談が残薬調整率に与える影響：単施設、後ろ向きコホート研究

○清水　善仁[1,2]、多賀　允俊[1]、新田　佑輔[2]、小林　弘典[1]、高橋　喜統[1]、上原　隆[2]、政氏　藤玄[1]
[1]金沢医科大学病院薬剤部、[2]金沢医科大学精神神経科学

21-12-O19-3　せん妄患者における不眠症治療薬の処方変遷が抗精神病薬使用に及ぼす影響

○鷲田　真緒[1]、祖川　倫太郎[1]、中野　祐樹[1]、村川　徹[2]、白石　匠[2]、溝口　義人[2]、島ノ江　千里[1]
[1]佐賀大学医学部附属病院薬剤部、[2]佐賀大学医学部精神医学講座

21-12-O19-4　パリペリドン製剤使用患者におけるプロラクチン測定の実施状況の調査

○岡　辰也[1]、吉岡　芙美[2]、中山　洋輔[3]、石井　秀明[2]、鈴木　祐太[1]、勝目　泰槙[1]、荒木　志乃[2]、川俣　洋生[2]、三角　紳博[1]、福石　和久[4]
[1]独立行政法人国立病院機構熊本医療センター、[2]独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、[3]独立行政法人国立病院機構九州医療センター、[4]独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター

21-12-O19-5　クロザピン誘発性流涎症モデルラットにおける唾液分泌の量的・質的変化

○岸野　結衣[1]、瀬山　春佳[2]、石田　奈津子[1]、石本　尚大[2,3]、有原　大貴[1]、渡辺　宏晃[1]、崔　吉道[2,3]、菅　幸生[1]、石崎　純子[1]、嶋田　努[1]
[1]金沢大学医薬保健研究域薬学系、[2]金沢大学大学院医薬保健学総合研究科、[3]金沢大学附属病院薬剤部

一般演題（口頭）23　16:40～17:40

感染制御（処方支援・副作用回避）

座長：坪内　清貴（金沢大学附属病院薬剤部）
大村　友博（神戸大学医学部附属病院薬剤部）

21-12-O23-1　抗菌薬許可制における電子カルテの機能および運用改善によるカルバペネム耐性緑膿菌検出率の変化

○須藤　颯一朗[1,2]、横山　威一郎[1]、市川　智彬[1]、中澤　瑠美子[1]、白根　大貴[1]、高塚　博一[1]、村田　正太[1]、渡辺　健太[1]、内田　雅士[1]、山崎　伸吾[1]、石井　伊都子[1]
[1]千葉大学医学部附属病院、[2]仙台徳洲会病院

21-12-O23-2 ベースライン血小板数が低値の患者におけるリネゾリド投与後の血小板推移と治療継続性

○井上　優希[1]、堤　竹蔵[1]、菅原　満[1,2]、武隈　洋[1]
[1]北海道大学病院薬剤部、[2]北海道大学大学院薬学研究院

21-12-O23-3 非結核性抗酸菌症外来患者におけるProtocol Based Pharmacotherapy Managementを活用した薬学的介入の有用性の検討

○佐藤　可奈[1]、小林　恵利香[1]、伊藤　明広[2]、石田　直[2]、徳田　衡紀[1]
[1]公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤部、
[2]公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科

21-12-O23-4 Candida血症治療におけるmicafungin投与量の違いが臨床効果に与える影響

○木村　槙吾[1]、林　公平[2]、星　貴薫[2]、宮崎　公爾[1]、浅利　信朗[1]
[1]医療法人徳洲会札幌徳洲会病院薬剤部、[2]北海道科学大学薬剤部薬学科

21-12-O23-5 侵襲性カンジダ症におけるミカファンギンの治療成功率最大化を目指した体表面積あたり投与量の探索

○長水　正也[1,2]、野田　雅人[1]、中村　大学[3]、苅田　柾人[3]、大塚　勇斗[2,3]、堀　雅之[3]、竹本　竜平[3]、佐藤　由美子[4]、堀田　祐志[2,3]、近藤　勝弘[1,2]
[1]名古屋市立大学東部医療センター薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学、
[3]名古屋市立大学病院薬剤部、[4]名古屋市立大学西部医療センター薬剤部

11月21日(土)　　第17会場（ホテル金沢　4F　風月の間）

一般演題(口頭)4　　9:30〜10:18

YIAセッション1(学生)

座長：菅原　満（北海道大学大学院薬学研究院）
金光　祥臣（新潟大学医歯学総合病院薬剤部）

21-17-O04-1 早産児における腎成熟とガンシクロビルクリアランスのキャッチアップ発達

○加田　勝也[1]、猪又　智美[2]、西川　暢[1]、井出　春佳[1]、中村　健太郎[2]、吉田　丈俊[2]、田口　雅登[1]
[1]富山大学学術研究部薬学・和漢系実践薬学研究室、[2]富山大学医学部小児科学

21-17-O04-2 進行膵癌に対するGemcitabine＋nab-Paclitaxel療法における治療早期Geriatric Nutritional Risk Index変化と予後との関連

○大友　千加[1]、櫛原　秀之[2]、佐藤　美月[2]、成瀬　徳彦[2]、林　高弘[1]
[1]金城学院大学薬学部薬学科、[2]日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院薬剤部

21-17-O04-3 JAHIS処方データを利活用した服薬通知と薬剤情報AI支援を統合したアプリケーションの開発

○速水　士虎[1]、鷲尾　利克[2]、渡邊　勝[3]、山岸　義晃[4]、近藤　昌夫[5]、荒船　龍彦[6]
[1]東京電機大学大学院理工学研究科、[2]産業技術総合研究所、[3]宮城県立こども病院、[4]大阪大学医学部付属病院、[5]大阪大学大学院薬学研究科、[6]東京電機大学理工学部

21-17-O04-4 野々市市KDBを用いた2型糖尿病治療中断と合併症発症リスクのコホート解析

○井波　楓怜、窪野　将也、有原　大貴、渡辺　宏晃、石田　奈津子、菅　幸生、石﨑　純子、嶋田　努
金沢大学医薬保健研究域薬学系

一般演題（口頭）8　10:18～11:30

YIAセッション2（社会人1）

座長：菅原　満（北海道大学大学院薬学研究院）
金光　祥臣（新潟大学医歯学総合病院薬剤部）

21-17-O08-1　eGFRcysとeGFRcrの乖離がDOACs関連AKI発症に及ぼす影響

○相神　智宏、石郷　友之、伊部　裕太、藤居　賢、福土　将秀
札幌医科大学附属病院薬剤部

21-17-O08-2　潰瘍性大腸炎患者における炎症関連蛋白および腎機能がトファシチニブおよびその終代謝物M9の薬物動態に与える影響

○田崎　一慶[1,2]、酒井　陽香[1]、新谷　心苗[1]、須野　学[1]、高尾　政輝[3]、北野　雅之[3]、中川　貴之[1,2]、松原　和夫[1]
[1]和歌山県立医科大学薬学部、[2]和歌山県立医科大学附属病院薬剤部、[3]和歌山県立医科大学医学部内科学第二講座

21-17-O08-3　アベマシクリブ投与乳癌患者におけるクレアチニン・シスタチンC乖離と腎トランスポーター遺伝子多型の関連

○渡辺　宏晃[1,2]、平井　啓太[2]、大場　崇旦[3]、網谷　正統[3]、伊藤　研一[3]、内藤　隆文[2]
[1]金沢大学医薬保健研究域薬学系臨床薬学研究室、[2]信州大学医学部附属病院薬剤部、
[3]信州大学医学部外科学教室乳腺内分泌外科学分野

21-17-O08-4　クロザピンおよびN-デスメチルクロザピン血中濃度に基づく便秘増悪リスク評価

○伊東　晃尚[1]、平井　利典[2]、森田　怜子[1]、増原　朝日[1]、若旅　美紀子[1]、鈴木　枝里子[3]
[1]久喜すずのき病院薬剤部、[2]東京科学大学病院薬剤部、[3]久喜すずのき病院精神科

21-17-O08-5　集中治療初期Augmented Renal Clearance発現のリスク因子の探索

○小林　洋平[1]、福間　博[2]、河津　敏明[1]、深津　祥央[1]
[1]地方独立行政法人りんくう総合医療センター薬剤部門、
[2]地方独立行政法人りんくう総合医療センター救命診療科

21-17-O08-6　FAERSを用いたアゾール系抗真菌薬における皮膚癌の評価および報告症例の特徴

○松隈　喜久乃、中野　祐樹、祖川　倫太郎、島ノ江　千里
佐賀大学医学部附属病院薬剤部

一般演題（口頭）12　13:20～14:20

YIAセッション3（社会人2）

座長：本間　真人（筑波大学附属病院薬剤部）
岩本　卓也（三重大学医学部附属病院薬剤部）

21-17-O12-1　進行尿路上皮癌におけるエンホルツマブベドチン関連有害事象と治療成績の関連：システマティックレビューおよびメタ解析

○真川　明将[1,2]、加藤　秀雄[1,2]、井上　貴博[3]、岩本　卓也[1,2]
[1]三重大学医学部附属病院薬剤部、[2]三重大学大学院医学系研究科臨床薬剤学、
[3]三重大学大学院医学系研究科腎泌尿器外科学

21-17-O12-2　免疫チェックポイント阻害薬を含む肺がん化学療法における体重減少・BMIと治療効果との関連

○松尾　拓馬[1]、鈴木　賢一[2]、後藤　総太郎[1]、原田　浩明[1]、山田　良江[1]、細見　幸生[3]、加藤　晃史[4]、横川　貴志[2]、小林　一男[5]、恩田　健二[6]、田中　祥子[2]、酒井　萌花[2]、原　葵衣[2]、板尾　優花[2]、佐藤　風月[2]、市村　丈典[6]、山村　康比古[1]
[1]東京都立駒込病院薬剤科、[2]東京薬科大学臨床薬理学教室、[3]東京都立駒込病院呼吸器内科、
[4]東京都立駒込病院臨床試験科、[5]がん研究会がん研有明病院、[6]東京薬科大学臨床薬学大講座

21-17-O12-3　切除不能・再発膵癌患者において診断基準別に定義した悪液質が一次化学療法の治療効果に及ぼす影響：時間依存性Cox解析

○山田　友奈美[1]、栗原　あずみ[2]、藤井　宏典[1]、渡邊　大地[1]、上村　真也[3]、菱田　史織[1]、大畑　紘一[1]、加藤　寛子[1]、飯原　大稔[1]、小林　亮[1,4]、松浦　克彦[2]、清水　雅仁[3]、鈴木　昭夫[1,4]
[1]岐阜大学医学部附属病院薬剤部、[2]愛知学院大学薬学部医療薬学講座、[3]岐阜大学医学部附属病院第一内科、[4]岐阜薬科大学薬学部先端医療薬学研究室

21-17-O12-4　食道癌DCF療法における低ナトリウム血症のリスク因子と時間的関連の検討

○染谷　梨緒、八木　聡美、川原田　祐貴、宮崎　雅之、溝口　博之、池末　裕明
名古屋大学医学部附属病院薬剤部

21-17-O12-5　化学放射線療法施行中の頭頸部癌患者におけるレバミピド含嗽液の使用感および受容性の評価

○永井　晶大[1,2]、河本　小百合[2]、内田　信也[2]、鈴木　貴明[1]
[1]山梨大学医学部附属病院薬剤部、[2]静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府薬学専攻実践薬学講座

一般演題（口頭）16　14:20〜15:20

YIAセッション4（社会人3）

座長：本間　真人（筑波大学附属病院薬剤部）
岩本　卓也（三重大学医学部附属病院薬剤部）

21-17-O16-1　ブイフェンド静注用で生じるゲスト交換反応に伴う過飽和に起因した物理的配合変化

○鈴木　貴大[1]、本橋　航平[2]、武井　亮磨[2]、幸村　友菜[2]、宮本　政宗[1]、小岩　まの[1]、永野　浩之[1]、関　智宏[2]、眞壁　秀樹[1]、関　俊暢[2]
[1]埼玉医科大学病院薬剤部、[2]城西大学薬学部

21-17-O16-2　リアルワールドデータと構造化因果関係評価を用いたカルバペネム関連薬剤性肝機能障害評価の乖離解析

○原　那帆、八木　達也、山田　尚広、荒川　友博、川上　純一
浜松医科大学医学部附属病院薬剤部

21-17-O16-3　逆確率重み付け（IPTW）を用いたリネゾリドおよびテジゾリドの血液毒性の後ろ向き比較検討

○柴田　祐一[1,2]、浅井　信博[2,3]、萩原　真生[4]、大橋　渉[5]、三鴨　廣繁[4]、大西　正文[1]
[1]愛知医科大学病院薬剤部、[2]愛知医科大学病院感染制御部、[3]愛知医科大学病院感染症科、[4]朝日大学病院、[5]愛知医科大学病院臨床研究支援センター

21-17-O16-4　バンコマイシンAUC推定における1点と2点測定の乖離因子に関する多機関後方視的検討

○檜山　洋子[1,2]、尾田　一貴[3]、九万田　由貴江[4]、山田　智之[5]、安川　乃里子[6]、藤田　浩平[7]、茂見　茜里[8]、前原　健司[9]、井村　美月[10]、植田　貴史[11]、田井　達也[12]、山本　圭城[13]、本岡　真弥[14]、石村　美祐[15]、辻中　海斗[16]、冨田　隆志[1]、垰越　崇範[1]、竹末　芳生[17]、松尾　裕彰[1]
[1]広大病院薬、[2]広大院微生物医薬品開発学、[3]熊大病院薬、[4]済生会熊本病院TQM部、[5]大阪医薬大病院薬、[6]愛知医大病院薬、[7]神大病院薬、[8]鹿大病院薬、[9]福山市民病院薬、[10]熊本日赤病院薬、[11]兵医大感染制御学、[12]香大病感染制御部、[13]堺総合病院薬、[14]安佐市民病院薬、[15]呉医療セ薬、[16]徳大病院薬、[17]知多りんくう病院感染対策室

21-17-O16-5　経尿道的前立腺切除術におけるスルファメトキサゾール・トリメトプリム配合剤を用いた術後感染予防の妥当性の評価

○蓮井　亮[1,2]、水野　智博[3]、辻　雄大[2]、中尾　慎太郎[1]、山田　成樹[3]、土井　洋平[4]、高橋　和男[2]、松本　哲哉[1]
[1]旭労災病院薬剤部、[2]藤田医科大学生体構造学、[3]藤田医科大学薬物治療情報学、[4]藤田医科大学微生物学

一般演題（口頭）20　15:40～16:40

YIAセッション5（社会人4）

座長：川上　純一（浜松医科大学医学部附属病院薬剤部）
川尻　洋光（石川県薬業卸協同組合）

21-17-O20-1　アミオダロンとフロセミドの混合条件の違いが配合変化に及ぼす影響の比較検討

○岩渕　聡[1,2]、今井　徹[2]、鈴木　直人[3]、南郷　拓嗣[1]、長友　太希[3]、宮岸　寛子[1]、鈴木　豊史[3]、大塚　進[4]、小菅　康弘[1]
[1]日本大学薬学部薬理学研究室、[2]日本大学医学部附属板橋病院薬剤部、[3]日本大学薬学部薬剤学研究室、[4]日本大学病院薬剤部

21-17-O20-2　ANPシグナルに関わる一塩基多型の包括的解析に基づくサクビトリルバルサルタンの抗心不全作用の個人差解明

○野田　麻琴[1]、鈴木　光路[1]、竹下　舜也[1]、八木　達也[1]、前川　裕一郎[2]、川上　純一[1]
[1]浜松医科大学医学部附属病院薬剤部、[2]浜松医科大学内科学第三講座（循環器内科）

21-17-O20-3　HFrEF患者のGDMT最適化に向けた病棟薬剤師の積極介入の有用性評価

○岡田　一希[1,2]、柴田　愛実[1]、加藤　栄美子[1]、平松　隆[1]、野田　雅人[1,2]、長水　正也[1,2]、近藤　勝弘[1,2]
[1]名古屋市立大学医学部附属東部医療センター薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学分野

21-17-O20-4　がん性疼痛患者におけるメサドン関連QT延長およびTorsades de Pointesの発症率：システマティックレビューおよびメタ解析

○中西　芽依、渋谷　悠真、阿部　健太郎、五十嵐　隆志、酒向　あずみ、小田　亜貴子、樋口　昇大、近藤　直樹
国立研究開発法人国立がん研究センター東病院薬剤部

21-17-O20-5　SGLT2阻害薬によるシスプラチン誘発腎障害の新規予防戦略：基礎から臨床へのトランスレーショナルアプローチ

○高橋　志門[1,2]、合田　光寛[1,3]、林　稔展[4]、神田　将哉[1,5,6]、渡部　純也[1]、小山　陽[1]、岡本　尚大[1,2]、井上　貴久[1,2]、小川　敦[2,7]、堀川　伊和[1,2]、相澤　風花[1,8]、新村　貴博[1,8]、川田　敬[1,2]、櫻田　巧[1,2]、桐野　靖[1,2]、石澤　啓介[1,2,7,8]
[1]徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学、[2]徳島大学病院薬剤部、[3]広島大学大学院医系科学研究科臨床薬理学、[4]福岡大学薬学部健康危機管理薬学研究室、[5]旭川医科大学病院臨床研究支援センター、[6]旭川医科大学病院薬剤部、[7]徳島大学大学院医歯薬学研究部地域医療薬学、[8]徳島大学病院臨床研究推進部

一般演題（口頭）24　16:40～17:40

YIAセッション6（社会人5）

座長：川上　純一（浜松医科大学医学部附属病院薬剤部）
川尻　洋光（石川県薬業卸協同組合）

21-17-O24-1　自然言語処理とベイジアンネットワークを用いた医療用麻薬関連事故の多工程プロセス解析

○生野　由佳[1]、皿海　聖人[2]、大神　駿人[2]、大須賀　一美[2]、國平　サク[2]、佐々木　ひなた[2]、生野　里奈[2]、名倉　京佑[3]、相良　英憲[1,2]
[1]山口東京理科大学院薬学研究科医療安全学分野、[2]山口東京理科大学薬学部医療安全学分野、[3]岡山大学病院薬剤部

21-17-O24-2　救急・集中治療領域におけるプロトコルに基づく薬剤師介入の効果：系統的レビューとメタ解析

○角江　里紗[1]、花井　雄貴[2]、中馬　真幸[1]、磯部　太志[1]、野原　宗一郎[1]、上杉　紘一[1]、新田　侑生[1]、吉田　祐花[1]、小川　敦[3,4,5]、石澤　啓介[3,4,5,6]、田崎　嘉一[1]
[1]旭川医科大学病院薬剤部、[2]明治薬科大学臨床感染症学研究室、
[3]徳島大学大学院医歯薬学研究部医学域臨床薬理学分野、
[4]徳島大学大学院医歯薬学研究部医学域地域医療薬学分野、[5]徳島大学病院薬剤部、[6]徳島大学病院臨床研究推進部

21-17-O24-3　ICU患者におけるせん妄発症と抗コリン負荷量との関連

○小山　勝真、伯野　大樹、岡田　直人、北原　隆志
山口大学医学部附属病院薬剤部

21-17-O24-4　入院患者における睡眠薬クラス別の身体拘束使用状況と転倒転落リスクの調査

○和田　英江、高取　俊和、大成　政揮、高田　宏文
独立行政法人労働者健康安全機構岡山労災病院薬剤部

21-17-O24-5　便秘に適応を有する漢方薬の瀉下作用の特性と大黄甘草湯における甘草の役割の解析

○今　理紗子、小野寺　那奈、齊藤　弥羽、五十嵐　信智、杉山　暁、野村　幸世
星薬科大学医療薬学研究室

11月22日（日）　第9会場（ホテル日航金沢　3F　孔雀の間A）

一般演題（口頭）25　9:30～10:30

抗がん薬調製・曝露対策

座長：塩川　満（東京女子医科大学病院薬剤部）
髙瀬　久光（順天堂大学医学部附属浦安病院薬剤科）

22-9-O25-1　抗がん薬調製区域及び非調製区域の床・天井における抗がん薬汚染状況

○吉田　航[1]、前田　章光[1]、淺野　恭子[2]、富安　直弥[1]、飯田　優美[3]、高畑　知帆子[4]、内田　幸作[1]
[1]愛知県がんセンター薬剤部、[2]あいち小児保健医療総合センター薬剤部、[3]愛知県がんセンター臨床薬剤部、[4]愛知県がんセンター看護部

22-9-O25-2　抗がん薬曝露対策への取り組み～16年の経験、曝露調査結果を踏まえて～

○久保　杏奈、八田　喬史、茅野　尚希、米澤　美和
石川県立中央病院薬剤部

22-9-O25-3　ChemoRoとCSTD併用による抗がん薬曝露対策とデバイス費用抑制効果の検討

○伊藤　和佳奈、福井　嵩浩、平田　一真、金子　裕美、横山　威一郎、内田　雅士、石井　伊都子
千葉大学医学部附属病院薬剤部

22-9-O25-4　令和8年度診療報酬改定が閉鎖式接続器具使用拡大に与える経営影響の試算

○細川　祐岐、村地　康、高垣　佳史
地方独立行政法人市立東大阪医療センター薬務局

22-9-O25-5　注射用抗がん薬全例への閉鎖式薬物移送システム適用拡大と薬剤バイアル最適化併用導入の効果

○平川　寛之[1]、小林　美奈子[1]、鈴木　直人[1]、髙橋　将典[1]、岡田　浩司[1,2]
[1]東北医科薬科大学病院薬剤部、[2]東北医科薬科大学薬学部病院薬剤学教室

一般演題（口頭）29　10:30～11:30

緩和ケア

座長：塩川　満（東京女子医科大学病院薬剤部）
髙瀬　久光（順天堂大学医学部附属浦安病院薬剤科）

22-9-O29-1　カペシタビン誘発手足症候群に対するジクロフェナクゲル導入時期の検討

○直井　美萌[1]、松坂　和正[1]、武井　大輔[1]、花井　誠[1]、鈴木　貴之[1]、中山　季昭[1]、稲本　林[2]、高橋　直樹[3]、原　浩樹[3]、大塚　公庸[1]
[1]埼玉県立がんセンター薬剤部、[2]静岡県立静岡がんセンター消化器内科、[3]埼玉県立がんセンター消化器内科

22-9-O29-2　がん患者の不眠に対するレンボレキサントの有効性―日本語版アテネ不眠尺度による定量的評価と身体症状との関連―

○世古口　拓也、三宅　知宏
伊勢赤十字病院薬剤部

22-9-O29-3　オピオイド製剤使用中の終末期がん患者におけるナルデメジン服用とせん妄発症の関連

○齊藤　旭美[1,9]、冨田　祐作[2,9]、日比　陽子[3,9]、伊藤　昌美[4,9]、石黒　友希[5,9]、江崎　秀樹[1,9]、後藤　健志[6,9]、築山　郁人[7,9]、宮崎　雅之[8,9]、滝本　典夫[1]
[1]刈谷豊田総合病院、[2]聖霊病院、[3]名古屋市立大学大学院医学研究科、[4]碧南市民病院、[5]春日井市民病院、[6]一宮西病院、[7]名城大学薬学部、[8]名古屋大学医学部附属病院、[9]愛知県病院薬剤師会がん部会

22-9-O29-4　がん悪液質の有無によるフェンタニル貼付剤の用量調節過程の比較検討

○高橋　宏彰[1,2,3]、氏家　悠貴[2,3,4]、佐京　智子[2,4]、三津石　佳奈[5]、大久保　春香[3]、朝賀　純一[1,3]、松浦　誠[5]、野口　拓也[2,6]、工藤　賢三[1,3]
[1]岩手医科大学薬学部臨床薬学講座臨床薬剤学分野、
[2]岩手医科大学医歯薬総合研究所創薬・医療機器開発部門分子情報創薬、[3]岩手医科大学附属病院薬剤部、
[4]岩手医科大学薬学部臨床薬学講座情報薬科学分野、[5]岩手医科大学薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分野、
[6]岩手医科大学薬学部病態薬理学講座臨床医化学分野

22-9-O29-5　放射線治療に伴う疼痛に対するオピオイド鎮痛薬開始時期の検討に向けた調査研究

○大内　竜介[1,2]、牧　圭佑[3]、鈴木　清寿[4]、長尾　宗紀[5,6]、山方　俊弘[5,6]、千葉　美枝[7]、佐藤　よしみ[7]、薄井　健介[2,3]、佐藤　裕[2,3]、太田　伸男[8,9]、児山　香[5,6]、岡田　浩司[2,3]、村井　ユリ子[1]
[1]東北医科薬科大学薬学部臨床薬剤学教室、[2]東北医科薬科大学病院薬剤部、[3]東北医科薬科大学病院薬剤学教室、
[4]JR仙台病院緩和ケア内科、[5]東北医科薬科大学病院がん治療支援科、[6]東北医科薬科大学緩和医療学教室、
[7]東北医科薬科大学病院看護部、[8]東北医科薬科大学耳鼻咽喉科学教室、[9]東北医科薬科大学病院耳鼻咽喉科

一般演題(口頭)33　13:20〜14:20

薬物療法1

座長：岡田　浩司（東北医科薬科大学病院薬剤部）
兒玉　幸修（長崎大学病院薬剤部）

22-9-O33-1　ワルファリンと各種解熱鎮痛薬の相互作用に関する統合的評価

○高田　裕介[1]、井上　花菜[2]、飛鷹　範明[1]、合田　光寛[2]、石澤　啓介[3,4,5,6]、田中　守[1]
[1]愛媛大病薬剤部、[2]広島大院医系科学臨床薬理学、[3]徳島大院医歯薬学臨床薬理学、
[4]徳島大院医歯薬学地域医療薬学、[5]徳島大病薬剤部、[6]徳島大病臨床研究推進部

22-9-O33-2　病態差がバルプロ酸の遊離形分率に及ぼす影響：総濃度TDMの限界を示すメタアナリシス

○櫻間　啓基[1]、福元　広行[2]、園田　純一郎[1]、徳永　仁[1]
[1]九州医療科学大学薬学部薬学科、[2]九州医療科学大学生命医科学部生命医科学科

22-9-O33-3　バンコマイシン塩酸塩注の治療薬物モニタリングにおける「微小な投与量調整」の臨床的妥当性を評価するための後方視的検討

○池滝　晶子、小井土　啓一、青山　大樹、日下部　由衣、秋元　朝行
国立病院機構横浜医療センター

22-9-O33-4　カリウムイオン競合型アシッドブロッカーと食道カンジダ症との関連(単施設後ろ向き観察研究)

○小林　正太郎[1]、篠崎　浩司[1]、村松　泰地[2]、山室　大介[2]、櫛山　暁史[2]
[1]国際医療福祉大学成田病院、[2]明治薬科大学薬学部薬物治療研究室

22-9-O33-5　PPI併用想定下におけるpH上昇およびペプシン添加が経腸栄養剤の半固形化に及ぼす影響

○三井　奈緒[1,2]、芹澤　風香[1,3]、肥田　典子[4]、原田　努[5]、田中　広紀[1,2]
[1]昭和医科大学大学院薬学研究科病院薬剤学分野、[2]昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院薬局、
[3]昭和医科大学藤が丘病院薬剤部、[4]昭和医科大学大学院薬学研究科臨床研究開発学分野、
[5]明治薬科大学生命創薬科学科CMC・製剤工学

一般演題（口頭）37　14:20～15:20

薬物療法2

座長：岡田　浩司（東北医科薬科大学病院薬剤部）
兒玉　幸修（長崎大学病院薬剤部）

22-9-O37-1　保険薬局における利尿薬適正使用のための血清カリウム値モニタリングの有用性

○間井田　成美[1,2,3]、近藤　慎吾[2,3]、柏　教子[4]、嶋野　仁[5]、林　直子[3]、岩田　紘樹[2,3]、岡本　侑子[2,3]、小林　典子[2]、川本　嘉子[3]、山浦　克典[2,3]、花輪　剛久[1]
[1]東京理科大学薬学部薬学科、[2]慶應義塾大学薬学部薬学科、[3]慶應義塾大学薬学部附属薬局、[4]あおい調剤薬局、[5]ライオン薬局

22-9-O37-2　薬局薬剤師による血友病治療薬の個別最適化

○高橋　優輔[1]、塩原　和幸[1]、高橋　優人[1]、小鷹　篤[1]、小川　吉明[2]、飯塚　敏美[1]
[1]望星薬局、[2]東海大学医学部付属病院血液腫瘍内科学

22-9-O37-3　低用量IVIgから低用量SCIgへの切り替えを病院薬剤師が支援し、病態を維持できたCIDPの1症例

○増田　博也、佐々木　健志、川村　大輔、大荒　政志、坪田　美風、久岡　清子
医療法人育和会育和会記念病院薬剤部

22-9-O37-4　重症患者における24時間蓄尿クレアチニンクリアランス予測のための新規腎機能予測式の開発と検証

○伊部　裕太、石郷　友之、宮尾　舞、相神　智宏、藤居　賢、福土　将秀
札幌医科大学附属病院薬剤部

22-9-O37-5　重症患者における腎機能の変動が各種腎機能推算式の予測精度に及ぼす影響の検討

○宮尾　舞、伊部　裕太、石郷　友之、相神　智宏、野々山　雅俊、藤居　賢、福土　将秀
札幌医科大学附属病院薬剤部

一般演題（口頭）41　15:40～16:40

TDM・投与設計1

座長：土岐　浩介（筑波大学附属病院薬剤部）
山本　武人（東京大学病院薬剤部）

22-9-O41-1　高齢者における抗真菌薬ボリコナゾールの至適投与量の提案

○安井　友佳子[1,3]、櫻井　紀宏[2]、掛屋　弘[3]、安井　裕之[4]
[1]大阪医科薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター、[2]大阪公立大学医学部附属病院薬剤部、[3]大阪公立大学医学部大学院医学研究科臨床感染制御学、[4]京都薬科大学代謝分析学分野

22-9-O41-2　成人患者における既報アミカシン母集団薬物動態モデルの外的妥当性検討

○赤間田　悠刀[1]、小松　敏彰[1]、植村　宥美[1]、鈴木　愛理[1]、尾鳥　勝也[1,2]
[1]北里大学病院薬剤部、[2]臨床薬学研究・教育センター臨床薬学大講座薬物治療学I

22-9-O41-3　バンコマイシンのAUC-guided TDM臨床実装における病棟担当薬剤師の寄与

○飯田　萌子[1,2]、堀田　康弘[1,2,3]、加藤　秀紀[2]、早川　智章[1,2]、野村　有紀[2]、三村　佳久[1,2]、小田切　州広[1,2]、阿知波　瑞紀[2]、小川　那奈[1,2]、木村　理恵[2]、近藤　勝弘[1,4]、堀田　祐志[1,2]、中村　敦[3]、日比　陽子[1,2]
[1]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学、[2]名古屋市立大学病院薬剤部、[3]名古屋市立大学病院感染制御部、[4]名古屋市立大学医学部附属東部医療センター薬剤部

22-9-O41-4　機械学習を活用したバンコマイシンの母集団薬物動態モデル選択の最適化

○赤松　隼人[1,2]、今村　政信[1]、寺井　愛八花[1]、尾田　一貴[3]、城野　博史[3]、兒玉　幸修[1,2]、大山　要[1,2]
[1]長崎大学病院薬剤部、[2]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子病態化学分野、[3]熊本大学病院薬剤部

22-9-O41-5　バンコマイシン2回目TDMにおいて過去の濃度データを入力すべきか？－直近単独法と過去併用法の適用における患者個別化の検討

○志田　拓顕[1,2]、笹野　央[3]、青嶋　瑞樹[2]、深谷　寛[2]、木村　利美[1,2,3]
[1]順天堂大学薬学部臨床薬理学分野、[2]順天堂大学医学部附属順天堂医院、
[3]順天堂大学薬学部臨床薬学教育センター

一般演題(口頭)45　**16:40〜17:40**

TDM・投与設計2

座長：土岐　浩介（筑波大学附属病院薬剤部）
山本　武人（東京大学病院薬剤部）

22-9-O45-1　VV-ECMOを要する結核患者におけるリファンピシンの血中濃度測定の必要性

○須山　由佳子[1]、杉山　恭平[2]、岩科　慧[3]、成田　知大[3]、櫻井　和子[1]
[1]静岡県立総合病院薬剤部、[2]静岡県立大学薬学部臨床薬効解析学分野、[3]静岡県立総合病院救急診療部救命救急科

22-9-O45-2　テイコプラニンの初回トラフ濃度に及ぼす加齢と低体重の影響評価：単施設後ろ向きコホート研究

○中津川　瑛美[1]、漣　航平[1]、塩飽　英二[1]、菱澤　方勝[2]、小林　由佳[1]
[1]社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院薬剤科、[2]社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院血液内科

22-9-O45-3　新生児および乳児におけるNeoVancoによるバンコマイシン血中濃度予測の有用性評価

○高橋　諒多[1]、落合　彰子[1]、後藤　瑞保子[1]、山本　明日香[1]、加納　宏樹[1]、竹内　優都[2]、市川　隆裕[2]、塩野　展子[3]
[1]市立札幌病院薬剤部、[2]市立札幌病院感染症内科、[3]市立札幌病院新生児内科

22-9-O45-4　小児におけるPATを用いたバンコマイシンの初回ベイズ推定トラフ値と初回実測トラフ値の乖離に関連する因子の探索

○田代　渉[1]、合田　瞳優[1]、君塚　咲[1]、田中　遼大[1]、龍田　涼佑[1]、吉川　直樹[1]、後藤　洋徳[2]、平野　直樹[2]、井原　健二[2]、伊東　弘樹[1]
[1]大分大学医学部附属病院薬剤部、[2]大分大学医学部小児科学講座

22-9-O45-5　透析患者におけるバンコマイシン初回血中濃度に影響を与える因子の探索

○彦坂　麻美[1,2]、板垣　千華[1]、鈴木　玲央那[1]、松田　拓海[1]、定盛　理純[1]
[1]成田記念病院薬局、[2]京都薬科大学履修証明プログラム

11月22日(日)　**第10会場（ホテル日航金沢　3F　孔雀の間B）**

一般演題(口頭)26　**9:30〜10:30**

薬物動態・薬物相互作用

座長：伊藤　清美（武蔵野大学薬学部）
安　武夫（明治薬科大学臨床薬効毒性解析学）

22-10-O26-1　エンザルタミドとカルシウム拮抗薬の併用による実処方への影響の検討：レセプトデータ解析による相互作用の定量的評価

○板崎　信太朗[1]、玉木　啓文[1]、長内　理大[1]、野村　由貴[2,3]、野口　義紘[4]、佐口　弥[2,3]、吉村　知哲[2,4]、中村　光浩[5]、井口　和弘[1,2]
[1]岐阜薬科大学薬局薬学研究室、[2]岐阜薬科大学先端医療薬局学寄附講座、[3]中部薬品株式会社、
[4]岐阜薬科大学病院薬学研究室、[5]岐阜薬科大学医薬品情報学研究室

22-10-O26-2 セフトリアキソン関連中枢神経毒性発現の予測因子としてのAlbumin-Bilirubin scoreの有用性

○中野　祐樹[1,2]、祖川　倫太郎[1]、安河内　寿成[2]、蓮輪　博嗣[2]、島ノ江　千里[1]
[1]佐賀大学医学部附属病院薬剤部、[2]福岡県済生会二日市病院薬剤部

22-10-O26-3 がん悪液質病態時における血中ペムブロリズマブ濃度とCYP3A4活性との関係解析

○成田　一理[1,2]、柴田　海斗[1]、坂上　進[1,2]、神田　慎太郎[3]、内藤　隆文[1,2]
[1]信州大学医学部附属病院薬剤部、[2]信州大学大学院総合医理工学研究科臨床薬理学、
[3]信州大学医学部附属病院信州がんセンター

22-10-O26-4 がん悪液質の病態時における血中レンボレキサント濃度、がん性炎症およびCYP3A活性の関係解析

○坂上　進[1,2]、柴田　海斗[1]、成田　一理[1,2]、間宮　敬子[3]、内藤　隆文[1,2]
[1]信州大学医学部附属病院薬剤部、[2]信州大学大学院総合医理工学研究科臨床薬理学、
[3]信州大学医学部附属病院信州がんセンター

22-10-O26-5 造血幹細胞移植患者におけるホスネツピタント併用がタクロリムス血中濃度に及ぼす影響

○齋藤　実裕[1]、中澤　佑介[1]、佐藤　麻友[1]、阿部　琉聖[1]、石井　敬人[2]、矢野　真吾[2]、
川久保　孝[1]
[1]東京慈恵会医科大学附属病院薬剤部、[2]東京慈恵会医科大学附属病院腫瘍・血液内科

一般演題(口頭)30　10:30～11:30

薬物動態・その他

座長：伊藤　清美（武蔵野大学薬学部）
安　武夫（明治薬科大学臨床薬効毒性解析学）

22-10-O30-1 がん脳転移阻止薬探索のためのヒト血液脳関門マイクロ流体モデルの構築

○万々　桜[1]、土屋　雅美[2]、近藤　もも香[1]、西原　秀昭[3]、松尾　欣也[3]、稲垣　舞[4]、船本　健一[5]、
堀　里子[2]、立川　正憲[4,6]
[1]徳島大学薬学部、[2]慶應義塾大学薬学部、[3]山口大学大学院医学系研究科、[4]徳島大学大学院医歯薬学研究部、
[5]東北大学流体科学研究所、[6]徳島大学フォトニクス健康フロンティア研究院

22-10-O30-2 ドチヌラドによるURAT1阻害が腎臓にもたらす影響

○宮田　大資[1]、森本　渓音[1]、細谷　拓司[2]、豊田　優[1,3]、細山田　真[4]、高田　龍平[1]
[1]東京大学医学部附属病院薬剤部、[2]株式会社富士薬品メディカル・アフェアーズ部、
[3]防衛医科大学校分子生体制御学講座、[4]帝京大学薬学部人体機能形態学研究室

22-10-O30-3 脳梗塞患者におけるシロスタゾールの体内動態とCYP3A活性指標4β-hydroxycholesterolとの関連

○横山　匡[1]、賀川　義之[1]、金城　雄太[2]、辻　大樹[1]
[1]静岡県立大学薬学部臨床薬剤学分野、[2]島田市立総合医療センター脳卒中科

22-10-O30-4 ヒト腸組織由来オルガノイドを使用した薬物の吸収評価系の構築

○佐藤　夕紀[1]、田村　貴子[1]、柴田　賢吾[2]、旭　火華[2]、武冨　紹信[2]、菅原　満[1,3]
[1]北海道大学大学院薬学研究院、[2]北海道大学大学院医学研究院消化器外科教室I、[3]北海道大学病院薬剤部

22-10-O30-5 アセトアミノフェンによるNSAIDs起因性小腸傷害抑制作用メカニズムの解明　～活性代謝物AM404による作用の検討～

○関　桂子、木村　龍人、小林　政義
ライオン株式会社国内ビジネスユニットヘルスケア事業本部HBC事業部薬品研究所

一般演題(口頭)34　13:20〜14:20

がん薬物療法(その他)1

座長：山口　正和（公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部）
荒木　拓也（群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座）

22-10-O34-1　ゾルベツキシマブの院内体制構築後の使用実績と副作用発現調査

○芦崎　雅之、平田　力
恵佑会札幌病院薬剤科

22-10-O34-2　イサツキシマブ初回投与時における前投薬の使用状況調査

○徳武　和馬[1]、粂　哲雄[1]、原田　翔平[1]、秋山　加菜[1]、吉嗣　加奈子[2]、深谷　真史[2]、式　郁恵[2]、榎並　輝和[2]、池田　宇次[2]、佐藤　哲[1]
[1]静岡県立静岡がんセンター薬剤部、[2]静岡県立静岡がんセンター血液・幹細胞移植科

22-10-O34-3　子宮頸癌化学放射線療法施行患者における小線源療法と急性下痢発現の関連

○中井　昌紀[1]、吉田　謙介[2]、森田　一[3]、河村　勇介[4]、松本　拓真[5]、合原　嘉伸[6]、星野　直人[7]、殿村　直也[8]、番場　麻菜美[9]、金子　基子[10]、橘　正毅[11]、福島　知樹[12]、細川　浩輝[13]、武良　卓哉[14]、矢吹　剛[15]、渡邉　真一[16]、宮脇　大周[16]、飛鷹　範明[1]、田中　守[1]
[1]愛媛大学医学部附属病院、[2]東京薬科大学、[3]聖マリアンナ医科大学病院、[4]広島市立広島市民病院、[5]独立行政法人国立病院機構四国がんセンター、[6]佐賀大学医学部附属病院、[7]新潟大学医歯学総合病院、[8]東京都立多摩総合医療センター、[9]青森県立中央病院、[10]山形大学医学部附属病院、[11]長岡赤十字病院、[12]山梨大学医学部附属病院、[13]長岡中央綜合病院、[14]独立行政法人国立病院機構浜田医療センター、[15]新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院、[16]松山大学

22-10-O34-4　PBPMにおける胸部X線画像検査オーダー代行入力体制の構築〜間質性肺疾患の早期発見に向けた取り組み〜

○山本　龍世[1]、草野　淳一[1]、小澤　有輝[1]、嶋田　昌彦[2]、松本　俊亮[3]、吉田　理[1]
[1]神奈川県警友会けいゆう病院薬剤部、[2]神奈川県警友会けいゆう病院乳腺外科、
[3]神奈川県警友会けいゆう病院放射線診断科

22-10-O34-5　PBPM導入によるB型肝炎再活性化対策の取り組みとその効果

○稲垣　貴彦[1]、上葛　義浩[1]、川波　恭子[1]、増田　雅也[1]、山田　成樹[1,2]
[1]藤田医科大学岡崎医療センター薬剤部、[2]藤田医科大学病院薬剤部

一般演題(口頭)38　14:20〜15:20

がん薬物療法(その他)2

座長：山口　正和（公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部）
荒木　拓也（群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座）

22-10-O38-1　非小細胞肺がんの免疫チェックポイント阻害薬治療におけるirAEによる緊急入院のリスク因子:Multi-state model解析

○有原　大貴、渡辺　宏晃、石田　奈津子、石崎　純子、嶋田　努、菅　幸生
金沢大学医薬保健研究域薬学系臨床薬学研究室

22-10-O38-2　転移性腎細胞癌における重症免疫関連有害事象の臓器特異性と早期死亡リスク:5年間の後方視的解析

○佐藤　司理[1]、田崎　慶彦[1]、濱本　周造[2]、杉山　洋介[1]、生駒　弘明[2]、河瀬　健吾[2]、鈴木　敬子[3]、野田　祐介[4]、宇佐美　雅之[5]、坪内　陽平[6]、加藤　竜雅[7]、坂田　卓弥[8]、冨田　実里[1]、三村　佳久[1]、永井　隆[2]、海野　怜[2]、惠谷　俊紀[2]、内木　拓[2]、安井　孝周[2]、日比　陽子[1]
[1]名古屋市立大学病院薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学、[3]海南病院泌尿器科、[4]安城厚生病院泌尿器科、[5]豊田厚生病院泌尿器科、[6]江南厚生病院泌尿器科、[7]名古屋徳洲会総合病院泌尿器科、[8]蒲郡市民病院泌尿器科

22-10-O38-3 irAEの早期発見を目指した薬剤師による採血・採尿オーダ入力プロトコール導入の有用性と医師の行動変容に与える影響

○大井　勇秀[1]、鈴木　亮平[1]、青野　智恵美[1]、春田　桃歩[2]、平山　果歩[1]、金森　敏伸[1]、高橋　昌明[3]、竹内　正紀[1]
[1]独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター薬剤部、
[2]独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤部、[3]金城学院大学薬学部

22-10-O38-4 二重特異性抗体薬におけるサイトカイン放出症候群発症時期と管理実態および関連因子の検討

○高橋　佳織、渡部　大介、白岩　美紀、鈴木　拓真、高木　麻衣、浅野　智央、齋藤　義正、橋本　浩伸
国立がん研究センター中央病院薬剤部

22-10-O38-5 リンパ球の増加は免疫療法と化学療法併用時の免疫関連有害事象の特異的バイオマーカーとなる可能性がある

○伊藤　菜浪[1,2]、田崎　慶彦[1,2]、杉山　洋介[1,2]、三村　佳久[1,2]、飯田　萌子[1,2]、小田切　州広[1,2]、木村　優花[1]、冨田　実里[1,2]、堀田　祐志[1,2]、日比　陽子[1,2]
[1]名古屋市立大学病院薬剤部、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学

一般演題(口頭)42　15:40～16:40

がん薬物療法(その他)3

座長：工藤　賢三（岩手医科大学附属病院薬剤部）
橋本　浩伸（国立がん研究センター中央病院薬剤部）

22-10-O42-1 モスネツズマブ投与により重篤な肝障害を来した再発濾胞性リンパ腫の1例

○延藤　勇[1]、前寄　友香里[1]、菅原　浩之[2]
[1]一般財団法人住友病院薬剤部、[2]一般財団法人住友病院血液内科

22-10-O42-2 エンホルツマブ ベドチン＋ペムブロリズマブ併用療法中に非痙攣性てんかん重積を伴う急性中枢神経障害を来した1例

○柳下　博信[1]、赤嶺　由美子[1]、佐藤　博美[2]、石田　雅宣[3]、小松　夕姫[2]、村尾　裕佑[4]、三瓶　結[5]、山本　竜平[2]、齋藤　満[2]、成田　伸太郎[2]、菊地　正史[1]
[1]秋田大学医学部附属病院薬剤部、[2]秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学講座、
[3]奥州市国民健康保険まごころ病院内科、[4]秋田県厚生農業協同組合連合会能代厚生医療センター泌尿器科、
[5]秋田大学大学院医学系研究科神経内科学講座

22-10-O42-3 膵癌におけるゲムシタビン+アルブミン懸濁型パクリタキセル療法隔週投与法の有効性と安全性の検討

○三瓶　祐貴、奥田　泰考、品田　誠、藤村　昭太、齋藤　賢宏、山下　尊子、荒井　大地、大平　実佳、金井　栄里香、田村　依珠美、谷尾　詩音、中澤　寛仁、今井　靖
自治医科大学付属病院薬剤部

22-10-O42-4 mFOLFIRINOX不応膵がんに対するBiweekly GnP療法で完全奏効と長期病勢制御を得た一例

○箕輪　僚耶[1]、四十物　由香[2]、池田　智之[3]、草野　元[1]
[1]いわき市医療センター薬局、[2]株式会社日立製作所日立総合病院薬務科、[3]いわき市医療センター消化器内科

22-10-O42-5 進行膵がん患者におけるゲムシタビン含有レジメン施行中の血中GDF15動態と予後不良との関連

○加藤　紘大[1,2]、鈴木　秀隆[1,2]、近藤　直樹[1]、光永　修一[2,3]
[1]国立がん研究センター東病院薬剤部、[2]国立がん研究センター先端医療開発センターバイオマーカーTR分野、
[3]国立がん研究センター東病院肝胆膵内科

一般演題(口頭)46 **16:40〜17:40**

外来薬剤師業務

座長：工藤　賢三（岩手医科大学附属病院薬剤部）
橋本　浩伸（国立がん研究センター中央病院薬剤部）

22-10-O46-1　救急外来における早期の持参薬確認が病棟業務に与える効果　–救急外来常駐体制に向けた検討–

○田村　亮[1]、鎌田　里紗[2]、杉山　峰是[3]、久米　学[1,3]、室井　延之[1]
[1]神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部、[2]神戸市立西神戸医療センター薬剤部、
[3]神戸市立神戸アイセンター病院薬剤部

22-10-O46-2　薬剤師診察前介入ががん薬物療法の副作用と治療強度に与える影響

○小川　直希[1,2]、塩田　真帆[1]、村上　夏代[2]、山村　順[3]、岡本　紀雄[2]、藤井　千賀[1]
[1]堺市立総合医療センター薬剤科、[2]同化学療法センター、[3]同乳腺外科

22-10-O46-3　救命救急センターにおける持参薬鑑別業務へのオンライン資格確認導入の効果検討

○勝目　泰槙、小園　亜希、園田　美樹、木村　修徳、岡　辰也、鈴木　祐太、齋藤　巨樹、三角　紳博
国立病院機構熊本医療センター

22-10-O46-4　保険薬局における睡眠薬の使用に対する患者の主観的評価

○清水　侑真[1]、高野　結衣[2]、羽實　元太[3]、竹内　亨[3]、小林　円加[4]、石山　秀明[4]、田中　大樹[4]、榊原　維英[4]、橋本　歩[4]、榎本　尚人[4]、榊原　幹夫[4]、半谷　眞七子[1,2]、亀井　浩行[1,2]
[1]名城大学大学院薬学研究科病院薬学研究室、[2]名城大学薬学部病院薬学研究室、[3]ピノキオ薬局、[4]スギ薬局

22-10-O46-5　薬剤師トリアージの化学療法関連緊急入院リスク患者抽出における有用性

○橋本　幸輝[1]、辻　将成[2]、清水　久範[1]、渡部　秀一[1]、横川　貴志[3]、柴田　直樹[1]、野々宮　悠真[4]、前　勇太郎[1]、舘合　慶一[1]、中村　匡志[1]、伴　修平[1]、鈴木　一洋[5]、川上　和宜[1]、山口　正和[1]
[1]公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部、[2]株式会社アイン中央、[3]東京薬科大学薬学部臨床薬理学教室、
[4]慶應義塾大学薬学部医療薬学・社会連携センター、[5]公益財団法人がん研究会有明病院医療情報部

11月22日(日)　　第12会場（ホテル日航金沢　3F　ルミエール）

一般演題(口頭)27 **9:30〜10:30**

周産期

座長：長嶺　歩（高崎健康福祉大学薬学部薬学科）
日比　陽子（名古屋市立大学病院薬剤部）

22-12-O27-1　母体硫酸マグネシウム投与期間と新生児の出生時状態および蘇生介入との関連

○丹羽　莉加[1]、河合　恵愛[2]、佐藤　美月[1]、櫛原　秀之[1]、渡邊　法男[2]、成瀬　徳彦[1]
[1]日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院薬剤部、[2]愛知学院大学薬学部臨床薬学講座

22-12-O27-2　母から子へ、つながる薬剤師〜妊娠期から乳児期にわたる薬学的な視点からの支援〜

○小川　智孝[1,2,3,4]、西側　紀香[1]、河口　義隆[1]、峯岸　美恵子[2]、横山　直樹[3]、宮原　義也[4]
[1]社会医療法人愛仁会明石医療センター技術部薬剤科、[2]社会医療法人愛仁会明石医療センター看護部、
[3]社会医療法人愛仁会明石医療センター小児科、[4]社会医療法人愛仁会明石医療センター産婦人科

22-12-O27-3　妊婦・授乳婦への服薬カウンセリング実施に影響する施設因子の解析：全国病院調査

○小澤　秀介[1,2]、菊池　大輔[1,3]、赤阪　未来[1,4]、杉浦　あゆみ[1,5]、岩佐　千尋[1,6]、三木　陽介[1,7]、畠山　史朗[1,8]
[1]日本病院薬剤師会令和７年度学術第１小委員会、[2]信州大学医学部附属病院薬剤部、
[3]東北医科薬科大学薬学部地域医療薬学教室、[4]岡山医療センター薬剤部、[5]一宮市立市民病院薬剤局、
[6]千葉県済生会習志野病院薬剤部、[7]JA広島総合病院薬剤部、[8]東北医科薬科大学病院薬剤部

22-12-O27-4　妊娠中に人工乳での育児を希望した母親への「服薬患者の母乳指示票」の活用

○大津　由美子[1]、嶋田　真弓[2]、吉田　美寿々[3]、土橋　ユカリ[4]、永井　絵里子[1]、橋本　朱梨[1]、井上　聡子[1]、和田　和子[3]
[1]地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター薬局、[2]大阪母子医療センター母性内科、
[3]大阪母子医療センター新生児科、[4]大阪母子医療センター看護部

22-12-O27-5　生殖補助医療およびがん・生殖医療における病院薬剤師の関与実態：全国横断調査

○赤阪　未来[1,2]、杉浦　あゆみ[1,3]、小澤　秀介[1,4]、菊池　大輔[1,5]、三木　陽介[1,6]、岩佐　千尋[1,7]、畠山　史朗[1,8]
[1]日本病院薬剤師会令和７年度学術第１小委員会、[2]国立病院機構岡山医療センター薬剤部、
[3]一宮市立市民病院薬剤局、[4]信州大学医学部附属病院薬剤部、[5]東北医科薬科大学薬学部地域医療薬学教室、
[6]JA広島総合病院薬剤部、[7]千葉県済生会習志野病院薬剤部、[8]東北医科薬科大学病院薬剤部

一般演題（口頭）31　10:30～11:30

小児・AYA世代

座長：長嶺　歩（高崎健康福祉大学薬学部薬学科）
日比　陽子（名古屋市立大学病院薬剤部）

22-12-O31-1　小児患者におけるエボカルセト使用に関する実態調査

○小高　由子[1]、青柳　薫[1]、三浦　寄子[1]、堀内　萌衣[1]、藤井　俊輝[1]、齊藤　順平[1]、丹沢　彩乃[1]、西　健太朗[2]、小椋　雅夫[2]、亀井　宏一[2]、赤羽　三貴[1]
[1]国立成育医療研究センター薬剤部、[2]国立成育医療研究センター腎臓・リウマチ・膠原病科

22-12-O31-2　AYA世代がん患者の悩みに関するニーズ調査

○安部　智哉[1]、岡田　大地[1]、渡部　智文[2]、相良　篤信[3]、中山　季昭[1]、大塚　公庸[1]
[1]埼玉県立がんセンター薬剤部、[2]星薬科大学実務教育研究部門臨床疫学研究室、
[3]日本赤十字社医療センター薬剤部

22-12-O31-3　糖吸収に起因した消化管内浸透圧/水分変動解析：薬物吸収動態への影響とその小児特異性

○出野　杏奈[1]、堀田　和葵[1]、石井　智貴[1]、吉島　明日香[1]、前島　彩花[2]、山村　安香莉[2]、野村　鉄也[2]、小泉　直也[2]、中村　孝司[1]、玉井　郁巳[1]、白坂　善之[1,2]
[1]金沢大学医薬保健研究域薬学系、[2]昭和薬科大学薬学部薬剤学研究室

22-12-O31-4　新生児・乳児の低亜鉛血症に対する高用量亜鉛補充療法の有効性と安全性：251例の後ろ向き観察研究

○伊藤　俊和、大久保　知美、尾上　雅英
公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院薬剤部

22-12-O31-5　小児における高用量バンコマイシン投与時の安全性に関する後方視的観察研究

○窪田　茉実[1]、大穂　祐介[1]、齊藤　順平[1]、丹沢　彩乃[1]、庄司　健介[2,3]、赤羽　三貴[1]
[1]国立成育医療研究センター薬剤部、[2]国立成育医療研究センター教育研修センター、
[3]国立成育医療研究センター感染症科

一般演題(口頭)35　13:20〜14:20

感染制御(個別解析)

座長：北原　隆志（山口大学医学部附属病院薬剤部）
西　圭史（日本大学薬学部薬剤師教育センター）

22-12-O35-1　7日・14日抗菌薬タイムアウトリマインダーの導入がピペラシリン・タゾバクタムの使用動向に及ぼす影響：分割時系列解析

○鈴木　悠平[1]、山口　諒[1]、山本　武人[1]、原田　壮平[2]、田中　雄大[1]、北浦　慧[3]、松本　慎也[3]、米田　立[3]、堤　武也[3]、高田　龍平[1]
[1]東京大学医学部附属病院薬剤部、[2]東邦大学医学部微生物・感染症学講座、[3]東京大学医学部附属病院感染制御部

22-12-O35-2　肝移植患者におけるグラム陰性菌菌血症の治療期間に関連する因子：非移植肝胆道外科患者との比較による後ろ向き研究

○打和　佑太[1]、田中　雄大[1]、山本　武人[1]、山口　諒[1]、岡本　耕[2,4]、福田　開人[3]、鈴木　悠平[1]、岩波　歩実[1]、北浦　慧[4]、山本　真也[4]、池内　和彦[4]、奥川　周[4]、河口　義邦[3]、堤　武也[4]、長谷川　潔[3]、高田　龍平[1]
[1]東京大学医学部附属病院薬剤部、[2]東京科学大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学、
[3]東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学肝・胆・膵外科、人工臓器・移植外科、
[4]東京大学医学部附属病院感染症内科

22-12-O35-3　セフォチアムの遊離型および総血清濃度に基づく母集団薬物動態解析と個別化投与設計

○小松　敏彰[1]、高橋　勇貴[2,3]、高山　陽子[4]、赤間田　悠刀[1]、宮川　真由子[1]、藤尾　俊允[5]、五十嵐　一晴[5]、藤山　芳樹[5]、西澤　伸恭[5]、田島　弘[5]、隈元　雄介[5]、尾鳥　勝也[1,2]
[1]北里大学病院薬剤部、[2]北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター臨床薬学大講座薬物治療学１、
[3]東海大学医学部付属病院薬剤部、[4]北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門、
[5]北里大学医学部一般小児肝胆膵外科学

22-12-O35-4　MRSA菌血症患者の特徴と菌株の分子疫学的解析

○瀬山　翔史[1]、荷川取　海音[1]、上蓑　義典[2,3]、吉原　昂洋[1]、大竹　涼介[1]、青木　渉[2]、猪瀬　里夏[2]、松下　弘道[2,3]、長谷川　直樹[4]、南宮　湖[4]、中南　秀将[1]
[1]東京薬科大学薬学部臨床微生物学教室、[2]慶應義塾大学病院臨床検査科、[3]慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室、
[4]慶應義塾大学医学部感染症学教室

22-12-O35-5　スルバクタム/アンピシリン投与患者の低カリウム血症発現状況と危険因子の探索

○内田　和孝[1]、東　謙司朗[2]、尾田　一貴[3]、中川　義浩[2]、楠本　将裕[1]、喜多岡　洋樹[1]、山室　蕗子[1]
[1]熊本市立熊本市民病院薬剤部、[2]医療法人創起会くまもと森都総合病院薬剤部、[3]熊本大学病院薬剤部

一般演題(口頭)39　14:20〜15:20

感染制御(症例)

座長：北原　隆志（山口大学医学部附属病院薬剤部）
西　圭史（日本大学薬学部薬剤師教育センター）

22-12-O39-1　*Pseudomonas aeruginosa*菌血症を伴う全身熱傷患者に対してメロペネム持続投与時の血中濃度を後方視的に検証した1例

○足立　匠[1,2]、松永　直久[2]、今中　翔一[1]、奥平　倫世[3]、朝長　鮎美[4]、加納　誠也[4]、桑原　達朗[1]、伊藤　藍[1]、吉川　洋[1,2]、板垣　智之[2]、鈴木　駿矢[2,5]、野中　将太郎[5]、光永　善治[1]、渡部　多真紀[1,3]、長瀬　幸恵[1,3]、安野　伸浩[1,3]
[1]帝京大学医学部附属病院薬剤部、[2]帝京大学医学部附属病院感染制御部、[3]帝京大学薬学部、
[4]帝京大学医学部救急医学講座、[5]帝京大学医学部附属病院中央検査部

22-12-O39-2　手術適応外の13トリソミー児の難治性緑膿菌感染性心内膜炎に対しβラクタム系薬併用と長時間投与が奏功した1例

○柏原　道志[1,2]、本田　勝亮[1]、宮崎　文[2]、長岡　翔[1]、矢部　勝茂[1]
[1]社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院薬剤部、
[2]社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院小児循環器科

22-12-O39-3　腫瘍崩壊に伴うサイトカイン上昇によってボリコナゾールの代謝能が一時的に低下したと考えられる1例

○勝見　重昭[1]、荒木　拓也[1,2]、八島　秀明[1,2]、小林　宣彦[3]、半田　寛[3]
[1]群馬大学医学部附属病院薬剤部、[2]群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座、
[3]群馬大学医学部附属病院血液内科

22-12-O39-4　HIV感染透析患者にビクタルビ配合錠を導入した症例

○嶺　豊春[1]、泉田　真生[2]、中川　博雄[1]、兒玉　幸修[1]、田中　健之[2]、大山　要[1]
[1]長崎大学病院薬剤部、[2]長崎大学病院総合感染症科(国際感染症予防診療センター)

22-12-O39-5　血液悪性腫瘍患者におけるSARS-CoV-2の抗原持続陽性に難渋した症例について

○泉澤　友宏[1,2]、金子　知由[1,2]、渡辺　聡史[1,2]、妹尾　裕美子[1]、蔭山　博之[1]、堀野　哲也[3]、吉川　晃司[2,4]
[1]東京慈恵会医科大学附属柏病院薬剤部、[2]東京慈恵会医科大学附属柏病院感染対策室、
[3]東京慈恵会医科大学附属病院感染症内科、[4]東京慈恵会医科大学附属柏病院感染制御部

一般演題(口頭)43　15:40～16:40

ハイケアユニット

座長：安野　伸浩（帝京大学医学部附属病院薬剤部）
　　鈴木　貴明（山梨大学医学部附属病院薬剤部）

22-12-O43-1　アンギオ室常駐薬剤師による冠動脈疾患患者に対する脂質管理業務の評価

○辰己　日向子、藤田　将輝、川口　皓平、野村　実花、野口　裕介
京都第二赤十字病院

22-12-O43-2　Strike early and strike strong 戦略に基づいたACS　Care　Pathway　Ver2. 0による効果

○畑中　章吾[1]、杉本　健[2]、竹内　將貴[1]、今中　梨香[1]、岩本　葵[1]、木村　百花[1]、谷村　朋子[1]、吉村　光弘[1]、村岡　淳二[1]、若菜　紀之[2]
[1]京都田辺中央病院臨床薬剤部、[2]京都田辺中央病院循環器内科

22-12-O43-3　頭部外傷患者の早期けいれん発作の予防におけるレベチラセタムとラコサミドの有効性と安全性の比較

○松屋　翔太[1]、山口　智江[1]、地嵜　悠吾[2]、高松　純平[3]、白石　貴寿[1]
[1]関西労災病院薬剤部、[2]京都薬科大学臨床薬学教育研究センター、[3]関西労災病院救命救急科

22-12-O43-4　クラゾセンタン投与患者における体液貯留のリスク因子の検討

○関本　真雄[1]、今井　徹[2]、鈴木　悠斗[1]、伊原　慎吾[3]、千葉　宣孝[3]、大谷　直樹[4]
[1]日本大学病院薬剤部、[2]日本大学医学部附属板橋病院薬剤部、[3]日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野、
[4]日本大学医学部脳神経外科学系神経外科学分野

22-12-O43-5　CHDF施行下において薬物治療に難渋した甲状腺クリーゼの一例

○小山　実央、田中　美玲、八木　道直、能登　真澄美、井出　和男、若杉　正、小池　博文
横浜市立大学附属病院薬剤部

一般演題(口頭)47 **16:40〜17:40**

病棟薬剤師業務

座長：安野　伸浩（帝京大学医学部附属病院薬剤部）
鈴木　貴明（山梨大学医学部附属病院薬剤部）

22-12-O47-1　病棟薬剤師の処方支援実績に基づくPBPM候補業務の検討

○深水　勇伍、花香　淳一
医療法人社団善仁会小山記念病院薬剤部

22-12-O47-2　標準化薬剤師カンファレンスに基づく入院患者の薬物療法レビューと処方適正化の有用性

○高橋　伸幸[1,2]、山口　天士[1,2]、嶋村　久美子[1]、守屋　賀奈絵[1,2]、和田　紀子[1,2]、田中　広紀[1,2]
[1]昭和医科大学病院附属東病院薬局、[2]昭和医科大学薬学部病院薬剤学講座

22-12-O47-3　当院における吸入手技均一化に向けた取り組みと意識調査

○今田　美里[1]、山崎　貴史[1]、江川　友子[1]、林　佳奈子[1]、齊田　翌美[1]、盛　麻美[2]、大久保　博史[1]
[1]国立病院機構東佐賀病院薬剤部、[2]国立病院機構指宿医療センター薬剤科

22-12-O47-4　高齢入院患者の吸入手技実施可否を予測するMMSE細項目「自発書字」の有用性

○横山　敏紀[1,2]、水谷　怜子[2]、媚山　陽菜[2]、菅原　一哲[1]、伊藤　みなみ[1]、田中　菜緒[1]、岩上　貴弘[1]、金子　友紀[1]、中村　宜央[1]、高田　健司[3]、澤田　格[4]、櫻井　秀彦[1]
[1]西岡病院薬局、[2]北海道科学大学薬学部、[3]西岡病院リハビリテーション科、[4]西岡病院医局

22-12-O47-5　急性期脳梗塞患者における便秘発症への薬剤性因子の関与と予測モデルの評価

○迫田　凌太[1]、佐川　喬也[1,3]、石田　智滉[3]、福田　仁[4]、森沢　惇平[1]、赤垣　恵太[1,2]、丸山　拓実[1]、川西　裕[4]、川田　敬[5]、常風　興平[1,2]、上羽　哲也[4]、浜田　幸宏[1,2]
[1]高知大学医学部附属病院薬剤部、[2]高知大学大学院、[3]名古屋市立大学大学院薬学研究科臨床薬学分野、[4]高知大学医学部附属病院脳神経外科、[5]徳島大学病院薬剤部

11月22日(日) **第17会場（ホテル金沢　4F　風月の間）**

一般演題(口頭)28 **9:30〜10:30**

薬薬連携1

座長：出石　啓治（株式会社出石薬局いずし薬局）
岡田　直人（山口大学医学部附属病院薬剤部）

22-17-O28-1　外来がん薬物療法におけるトレーシングレポート報告時期が情報共有や診療対応に及ぼす影響

○吉留　実慧子、槙原　克也、基村　佳世、木本　大樹、沖　礼子、松村　友和、杉山　雄輝、松田　美里
淀川キリスト教病院薬剤部

22-17-O28-2　在宅がん緩和ケアにおける退院時カンファレンスへの院内外の薬剤師参加に向けた調整・教育的介入

○壁谷　めぐみ[1,2]、明野　愛[1,2]、林　亮介[1,2]、日比　聡[1]、湯浅　周[1]、北原　悦子[2]、山本　奈央子[2,3]、加藤　裕子[3]、所　千晶[2,4]、伊奈　研次[2,5]、粥川　哲[2,6]
[1]名古屋記念病院・薬剤部、[2]緩和ケアチーム、[3]医療社会事業相談室、[4]新生会第一病院看護部、[5]新生会第一病院内科、[6]新生会第一病院血液・腫瘍内科

22-17-O28-3　アパルタミド療法における医師主導トレーシングレポートの運用構築と副作用評価の標準化

○石川　雄大[1]、北村　寛[2]、高橋　則正[1]、江守　勇紀[1]、谷道　あかり[1]、田嶋　大輝[1]、高木　昭佳[1]、加藤　敦[1]
[1]富山大学附属病院薬剤部、[2]富山大学学術研究部医学系腎泌尿器科学

22-17-O28-4　薬薬連携を活用した膵がん悪液質スクリーニング

○川澄　賢司[1,2,3]、下村　直樹[2]、齋藤　里乃[2]、近藤　直樹[1]、光永　修一[3]
[1]国立がん研究センター東病院薬剤部、[2]日本調剤柏の葉公園薬局、[3]国立がん研究センター先端医療開発センターバイオマーカー探索トランスレーショナルリサーチ分野/国立がん研究センター東病院肝胆膵内科

22-17-O28-5　病薬連携ツールを用いた骨粗鬆症治療継続の可視化と地域フォローアップ体制の構築

○早川　兼司[1]、奥村　剛[2]
[1]立川綜合病院薬剤部、[2]立川綜合病院整形外科

一般演題(口頭)32　10:30～11:30

薬薬連携2

座長：出石　啓治（株式会社出石薬局いずし薬局）
岡田　直人（山口大学医学部附属病院薬剤部）

22-17-O32-1　退院時薬剤情報サマリーおよび心不全薬剤管理サマリーの有用性と薬薬連携における課題の検討

○佐藤　洸、中村　るみ、田中　翔也、守田　美紀、田邊　徹
川内市医師会立市民病院

22-17-O32-2　問い合わせ簡素化プロトコル下の処方日数短縮の妥当性と薬学的評価の必要性ー循環器用薬・糖尿病用薬を対象とした後方視的解析ー

○寺島　純一、河村　隆登、伊藤　聡一郎、平野　恵伍、酒井　千尋、山田　智佳子、小崎　耕自
公立陶生病院医療技術局薬剤部

22-17-O32-3　医療過疎地域における心不全地域病薬連携への取り組み(第2報)～病院から地域に向けた取り組みと現状～

○井口　知美
神栖済生会病院薬剤科

22-17-O32-4　中山間地域の薬局空白地域における持続可能な薬剤提供体制の検討- 阿蘇圏域多主体調査-

○長谷川　浩三[1,7]、稲葉　一郎[2]、玉飼　博之[3,7]、樫　智廣[4,7]、岩下　知磨[5,7]、甲斐　豊[6]、橋本　麻衣[8]、門脇　大介[8]
[1]阿蘇中央薬局、[2]泗水中央薬局グループ(株)ハートフェルト、[3]小国公立病院、[4]ファミリー薬局、[5]内牧中央薬局、[6]阿蘇医療センター、[7]阿蘇郡市薬剤師会、[8]崇城大学薬学部

22-17-O32-5　クロザピンの院外処方移行に向けた当院の取り組みの有効性の評価

○横地　菜々子[1]、島田　拓弥[1]、島名　世南[1]、泉　実公子[1]、中川　祐紀子[1]、坪内　清貴[1]、山本　奈歩[1]、川上　貴裕[1]、石本　尚大[1]、奥田　丈士[2]、崔　吉道[1]
[1]金沢大学附属病院薬剤部、[2]金沢大学附属病院神経科精神科

一般演題(口頭)36　13:20〜14:20

持参薬・薬薬連携

座長：萱野　勇一郎（大阪府済生会中津病院薬剤部）
矢野　貴久（島根大学医学部附属病院薬剤部）

22-17-O36-1　院外処方箋の疑義照会簡素化による外来診察室・院外薬局業務負担軽減の試み

○鈴木　良[1]、上葛　義浩[1]、石川　史奈[1]、稲石　範子[1]、半田　知美[1]、増田　雅也[1]、加藤　さや香[2]、山田　成樹[1,2]
[1]藤田医科大学岡崎医療センター薬剤部、[2]藤田医科大学病院薬剤部

22-17-O36-2　入退院支援センター導入及び薬剤師介入の効果

○山本　恭平、谷　江梨奈、羽田　勝彦
JA愛知厚生連安城更生病院薬剤部

22-17-O36-3　持参薬鑑別業務のタスクシェアによる病棟薬剤業務への効果

○岡本　千晴、大村　妙子、室　博也、林　良亮、長岡　雅敏、湯浅　周、壁谷　めぐみ
名古屋記念病院薬剤部

22-17-O36-4　持参薬鑑別業務の日勤業務時間内完結に向けた『鑑別業務補助枠』導入の効果

○西村　尚芳[1,2]、加茂　章弘[2]、末永　亘[2]、中禮　希咲[2]、中西　剛志[1]、古川　和弘[1]、小薮　真紀子[1]
[1]国立病院機構宮崎東病院薬剤科、[2]国立病院機構鹿児島医療センター薬剤部

22-17-O36-5　入院時持参薬から見た高齢者PIMs処方率の経年変化と課題

○田村　曉識、松井　俊典、治田　匡平、谷田　彩、池田　和之
奈良県立医科大学附属病院薬剤部

一般演題(口頭)40　14:20〜15:20

調剤・処方鑑査・医薬品管理

座長：萱野　勇一郎（大阪府済生会中津病院薬剤部）
矢野　貴久（島根大学医学部附属病院薬剤部）

22-17-O40-1　電子オーダーエントリーシステムを利活用した注射医薬品の処方支援コメントによる処方エラーの減少 〜業務改善の前後比較〜

○鈴木　孔貴、柏原　里帆、眞保　淳子、諏訪部　みゆき、柳下　后里、大串　篤史、津田　泰正、安達　明央、後藤　一美
聖路加国際病院薬剤部

22-17-O40-2　当院における期限切れ医薬品の現状と廃棄ロス削減への取り組み― 順天堂6附属病院との医薬品共有を踏まえて ―

○植松　卓也
順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科

22-17-O40-3　高額冷蔵保存医薬品管理の革新―NOVUMN導入、電子カルテ連携機能追加および複数卸業者連携の効果―

○八木　素子[1]、原田　慎太郎[1]、中谷　洋子[1]、山本　将孝[1]、岡田　明美[1]、荒川　忠儀[2]、嶋之内　弘一[2]
[1]富山県立中央病院薬剤部、[2]富山県立中央病院医療情報部

22-17-O40-4　電子カルテの予約・処方情報を利用したExcelによる処方量予測システムの構築と調剤室業務への応用

○北川　裕也[1,2]、中村　裕一[1]、棚谷　貢[1]、小林　龍[1]、樋浦　一哉[2]
[1]JA北海道厚生連札幌厚生病院、[2]北海道科学大学薬学部

22-17-O40-5 抗ヒスタミン薬アカデミック・ディテーリング資材を活用した採用品目選定方法の試行～医薬品在庫コスト削減に向けて～

○岡田　由美子、遊佐　茜、松浦　瑞穂、小林　亜貴子、鈴木　崇雪、出雲　貴文、小茂田　昌代
医療法人徳洲会千葉西総合病院薬剤部

一般演題(口頭)44　15:40～16:40

医療安全・患者安全・医薬品安全

座長：池田　和之（奈良県立医科大学附属病院薬剤部）
細野　智美（筑波大学附属病院薬剤部）

22-17-O44-1 前頭葉機能評価(FAB)に基づく高齢入院患者の服薬エラー防止に向けた段階的服薬管理アルゴリズムの開発

○後藤　友里[1]、山本　怜奈[2]、浅原　茉侑[2]、矢口　萌[1]、渕上　敬二[2]、仁熊　詩織[3]、西原　昌幸[1]
[1]医療法人社団輔仁会太田川病院薬剤部、[2]医療法人社団輔仁会太田川病院リハビリテーション科、[3]医療法人社団輔仁会太田川病院看護部

22-17-O44-2 院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコル運用下で生じた処方意図の齟齬に対する当院の取り組み－KYTによる検討－

○山下　雄也、星野　いずみ、鈴木　敬子、坪井　麻理子、佐々木　義文
一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院薬剤部

22-17-O44-3 医師事務作業補助者とNurse Practitionerにおける薬剤処方代行入力インシデント報告書データの後方視的分析

○舟橋　智美[1]、藤本　和朗[2]、森　一直[3]、大西　正文[1]、伊藤　清顕[4]
[1]愛知医科大学病院薬剤部、[2]愛知医科大学病院医療安全管理室、[3]愛知医科大学病院NP部、[4]愛知医科大学病院医療安全管理室肝胆膵内科

22-17-O44-4 B型肝炎再活性化ハイリスク薬使用患者におけるHBV-DNA検査有無の実態調査

○奥野　昌宏、松岡　勇作、森本　茂文
神戸市立西神戸医療センター薬剤部

22-17-O44-5 医療事故背景要因ラベル構築とベイジアンネットワークによる薬剤師関連医療事故の因果構造解析

○皿海　聖人[1]、生野　由佳[2]、大神　駿人[1]、大須賀　一美[1]、國平　サク[1]、佐々木　ひなた[1]、名倉　京佑[3]、相良　英憲[1,2]
[1]山口東京理科大学薬学部医療安全学分野、[2]山口東京理科大学院薬学研究科医療安全学分野、[3]岡山大学病院薬剤部

一般演題(口頭)48　16:40〜17:28

医療安全・製剤

座長：池田　和之（奈良県立医科大学附属病院薬剤部）
細野　智美（筑波大学附属病院薬剤部）

22-17-O48-1　演題取り下げ

22-17-O48-2　全自動PTPシート払出装置の導入がヒヤリハットおよびインシデント発生率に与える影響

○松本　雅弘[1]、福原　直樹[2]、近藤　泰礼[3]、高橋　智子[1]、分須　成美[1]、瀧澤　光[1]、榎本　晃宏[1]、鈴木　麻衣[1,4]、山本　宗孝[1,5]、深谷　寛[2]、高木　辰哉[1,5,6,7]
[1]順天堂大学医学部附属順天堂医院医療安全機能管理室、[2]順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部、
[3]順天堂大学医学部附属練馬病院、[4]順天堂大学医学部総合診療科学講座、[5]順天堂大学医学部病院管理学研究室、
[6]順天堂大学医学部緩和医療学研究室、[7]順天堂大学医学部附属順天堂医院医療安全推進部

22-17-O48-3　ヘパリン類似物質クリーム製剤の被膜形成能についての研究〜近赤外分光法による物性評価〜

○鹿村　仁菜[1]、熊谷　衣里子[1]、深水　啓朗[2]、小出　達夫[3]、山本　佳久[1]
[1]帝京平成大学薬学部、[2]明治薬科大学、[3]国立医薬品食品衛生研究所

22-17-O48-4　抗体製剤調製時の効率的な気泡除去を目的とした叩打器具作成とその作業実践効果の検証

○尾崎　正和、田中　翔子、井上　咲那、吉井　稔紀、永冨　裕子、税所　篤行、高砂　美和子、岡田　直人、北原　隆志
山口大学医学部附属病院薬剤部

22-17-O48-5　院内製剤の電子処方箋対応を目的とした運用体制の整備

○三谷　柚里、増江　俊子、島田　拓弥、中川　祐紀子、山本　奈歩、川上　貴裕、坪内　清貴、石本　尚大、崔　吉道
金沢大学附属病院薬剤部

11月23日(月・祝)　　第10会場（ホテル日航金沢　3F　孔雀の間B）

一般演題(口頭)49　　8:45～9:45

有害事象・副作用1

座長：堀　里子（慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座）
高橋　喜統（金沢医科大学病院薬剤部）

23-10-O49-1　アトピー性皮膚炎患者におけるデュピルマブ関連眼表面疾患の発現リスクと経時変化：自然言語処理を用いた電子カルテ解析

○矢島　優香[1]、土屋　雅美[1]、河添　悦昌[2]、嶋本　公徳[2]、関　倫久[3]、柳澤　友希[1]、今井　俊吾[1]、木崎　速人[1]、篠原　恵美子[2]、矢田　竣太郎[4,5]、西山　智弘[4]、若宮　翔子[4]、荒牧　英治[4]、堀　里子[1]
[1]慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座、[2]東京大学大学院医学系研究科、
[3]岡山大学学術研究院医歯薬学域医療情報応用学分野、[4]奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科、
[5]筑波大学図書館情報メディア系

23-10-O49-2　天疱瘡におけるリツキシマブ初回投与時のinfusion related reaction発症リスク因子の探索的検討

○大塚　勇斗[1,2]、三村　佳久[1,2]、二村　文那[2]、堀田　祐志[1,2]、日比　陽子[1,2]
[1]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学分野、[2]名古屋市立大学病院薬剤部

23-10-O49-3　潰瘍性大腸炎患者におけるステロイド漸減期間の長期化に関する検討

○福山　安里彩[1,2]、高島　光葉[3]、中島　章雄[1,2]、鶴田　真以[4]、松本　卓[1]、山田　楊太[1]、宮崎　元康[1,2]、今給黎　修[1,2]
[1]福岡大学筑紫病院薬剤部、[2]福岡大学薬学部病院薬学教室、[3]順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部、
[4]済生会二日市病院薬剤部

23-10-O49-4　潜在性結核感染症治療における肝機能障害の発現状況とリスク因子の多施設共同後方視的検討

○上田　真也[1]、小川　千晶[1]、田沼　健太郎[2]、割田　慎哉[2]、成田　和希[3]、中村　あゆみ[4]、地田　凌[4]、東　拓馬[5]、赤岩　愛記[1]、山本　吉章[6]、軍司　剛宏[1]
[1]国立病院機構東京医療センター薬剤部、[2]国立病院機構東京病院薬剤部、[3]国立病院機構茨城東病院薬剤部、
[4]国立病院機構東名古屋病院薬剤部、[5]国立病院機構三重中央医療センター薬剤部、
[6]国立病院機構金沢医療センター薬剤部

23-10-O49-5　血液がん患者におけるバンコマイシンの持続投与と間欠投与による急性腎障害発症率の比較

○中安　小春[1]、川畑　宗大[1]、福島　彩[1]、石郷　友之[2]、星　貴薫[3]、猪原　麻美[1]、安田　晴奈[1]、橋本　昌幸[1]
[1]医療法人徳洲会宇治徳洲会病院薬剤部、[2]札幌医科大学附属病院薬剤部、[3]北海道科学大学薬学部薬学科

一般演題(口頭)52　　9:45～10:45

有害事象・副作用2

座長：堀　里子（慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座）
高橋　喜統（金沢医科大学病院薬剤部）

23-10-O52-1　前立腺癌患者における内分泌療法の骨折に与える影響と当院での骨粗鬆症フォロー状況の現状調査

○本間　崇正、正木　猛史、鳥居　昌太、江崎　秀樹、榊原　隆志、滝本　典夫
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院薬剤部

23-10-O52-2　FRAXでは捉えられない転倒脆弱性因子と大腿骨近位部骨折との関連― 神経疾患およびFRIDsに着目して ―

○吉田　雄貴[1]、川井　悠喜[2]、井谷田　翔馬[1]、塩見　誠[3]、渡邊　結香[4]、工藤　正純[1]
[1]国際医療福祉大学那須医療センター薬剤部、[2]国際医療福祉大学塩谷病院診療技術部リハビリテーション室、
[3]国際医療福祉大学那須医療センター診療技術部リハビリテーション室、
[4]国際医療福祉大学那須医療センター看護部

23-10-O52-3　骨折リエゾンサービスチームの導入効果と薬剤師の役割

○中村　祐輔[1]、高瀬　友貴[1,2]、井関　凌佑[1]、吉野　新太郎[1]、久米　学[1]、太田　悟司[3]、
室井　延之[1]
[1]神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部、[2]神戸学院大学薬学部、
[3]神戸市立医療センター中央市民病院整形外科

23-10-O52-4　転倒による入院は、退院時のベンゾジアゼピン系薬剤およびZ薬中止と関連するか

○天野　しのぶ[1]、越智　良明[1]、小野寺　翔太[1]、島崎　新[2]、高田　俊彦[3]、上野　文昭[4]、
福原　俊一[3,5]
[1]大船中央病院薬剤部、[2]大船中央病院リハビリテーション科、[3]福島県立医科大学白河総合診療アカデミー、
[4]大船中央病院診療部、[5]京都大学地域医療システム学臨床疫学グループ

23-10-O52-5　高齢者の薬剤性肝障害（DILI）における客観的指標を用いた薬学的介入の一例 ―在宅医療での評価ツール使用の有用性―

○上原　章兵
ファルメディコ株式会社ハザマ薬局門真店

一般演題（口頭）55　11:00～12:00

医薬品情報・データベース

座長：長尾　知生子（金沢大学薬学系）
今井　俊吾（慶應義塾大学薬学部）

23-10-O55-1　日本の医薬品副作用データベースを用いたH1受容体拮抗薬によるてんかん発作の世代およびH1受容体占拠率別の評価

○正部　友優、豕瀬　諒、水野　香菜子、村木　優一
京都薬科大学臨床薬剤疫学分野

23-10-O55-2　日米有害事象データベースを用いたリネゾリド関連セロトニン症候群のシグナル検出と発現時期解析

○岡崎　優里[1]、渡邉　智子[1,2]、大西　未紗[3]、夫津木　汀[3]、齊藤　美空[3]、渡邊　太朗[2,4]、
相良　英憲[2,3]
[1]山口大学医学部附属病院薬剤部、[2]山口東京理科大学薬学研究科医療安全学分野、
[3]山口東京理科大学薬学部医療安全学分野、[4]山口県総合医療センター薬剤部

23-10-O55-3　JADERを用いたARAT関連心血管有害事象のシグナル解析

○西村　文宏[1,2]、岡田　直人[3]、尾田　一貴[1,2]、城野　博史[1,2]
[1]熊本大学病院薬剤部、[2]熊本大学大学院薬学教育部臨床薬物動態学分野、[3]山口大学医学部附属病院薬剤部

23-10-O55-4　日本の医薬品副作用データベース（JADER）を用いた経口JAK阻害薬と悪性腫瘍の関連の評価

○柳橋　あんり、豕瀬　諒、水野　香菜子、村木　優一
京都薬科大学臨床薬剤疫学分野

23-10-O55-5　免疫チェックポイント阻害薬がサイトメガロウイルス感染症発症リスクへ与える影響：DPCデータベースを用いたコホート研究

○岡田　直人[1]、井原　康貴[2]、後藤　良太[1]、北原　隆志[1]
[1]山口大学医学部附属病院薬剤部、[2]愛媛大学病院臨床研究支援センター

一般演題（口頭）58　14:00～15:24

ユニークな研究・その他1

座長：長尾　知生子（金沢大学薬学系）
田﨑　嘉一（旭川医科大学病院薬剤部）

23-10-O58-1　自然言語処理によるがん患者向けPHRアプリにおける患者自由記述の定性・定量分析

○井草　紗蘭[1]、土屋　雅美[1]、柳澤　友希[1]、桂　英之[2]、牧原　玲子[3]、木本　真司[4]、盛　啓太[5]、宮路　天平[6]、錢谷　聖子[7]、五百川　彰仁[7]、太良　哲彦[8]、後藤　悌[9]、堀　里子[1]
[1]慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座、[2]小松市民病院薬剤科、[3]国立がん研究センター中央病院薬剤部、[4]竹田綜合病院薬剤科、[5]静岡がんセンター臨床研究支援センター統計解析室、[6]Meaningful Outcome Consulting株式会社、[7]株式会社Welby、[8]相良病院腫瘍内科、[9]国立がん研究センター中央病院呼吸器内科

23-10-O58-2　抗がん剤調製ロボットにおける調製精度の実態と精度不良の要因：5年間60,000件超の大規模調製データに基づく評価

○外海　友規[1,2]、近藤　勝弘[1,3]、堀田　祐志[1,4]、佐藤　由美子[2]、日比　陽子[1,4]
[1]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学、[2]名古屋市立大学医学部附属西部医療センター薬剤部、[3]名古屋市立大学医学部附属東部医療センター薬剤部、[4]名古屋市立大学病院薬剤部

23-10-O58-3　PDCAサイクルチームの取り組み「不適切な抗がん剤治療選択を0にする」

○伴　晶子[1,2]、三島　江津子[1,2]、小林　義和[1,7]、足立　学[2,3]、山田　卓摩[1,2]、森田　奨[1,2]、小林　和子[2,4]、岡村　健子[2,4]、筧　由紀子[1]、鈴木　悠士[2,5]、牧野　光恭[1,6,7]
[1]公立西知多総合病院薬剤科、[2]公立西知多総合病院化学療法委員会、[3]公立西知多総合病院産婦人科、[4]公立西知多総合病院看護局、[5]公立西知多総合病院消化器内科、[6]公立西知多総合病院循環器内科、[7]公立西知多総合病院医療品質管理センター

23-10-O58-4　ベバシズマブ併用化学療法継続中にHbA1c改善を認めた再発直腸癌合併2型糖尿病の一例

○青木　彩華[1,2]、金　正興[1]、星　茜[1,2]、有泉　裕嗣[3,4]、堀池　篤[3,4]、嶋村　弘史[1,2]
[1]昭和医科大学病院薬剤部、[2]昭和医科大学薬学部病院薬剤学講座、[3]昭和医科大学病院腫瘍内科、[4]昭和医科大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門

23-10-O58-5　外来化学療法における有害事象評価の一元化：看護師・薬剤師共同テンプレート導入による業務効率化および薬薬連携への影響

○大谷　拓也、戸田　純司、野津　裕貴、川本　結香、福嶋　麻美子、荘山　咲智子、海老原　邦壮、室岡　邦彦、高瀬　久光
順天堂大学医学部附属浦安病院薬剤科

23-10-O58-6　二重盲検試験における盲検性維持を目的としたオーバーカプセル化体制の実装とリスク管理：RAMP試験での取り組み

○前田　誠[1]、浅野　智央[1]、貞廣　良一[2]、榎戸　正則[3]、松田　能宣[4]、小川　朝生[5]、山口　拓洋[6]、有吉　恵介[7]、小山田　隼佑[7]、内富　庸介[8]、明智　龍男[9]、八田　耕太郎[10]、松岡　弘道[2]、橋本　浩伸[1]
[1]国立がん研究センター中央病院薬剤部、[2]国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科、[3]斗南病院精神科・緩和ケア内科、[4]近畿中央呼吸器センター心療内科、[5]国立がん研究センター東病院精神腫瘍科、[6]東北大学大学院医学系研究科、[7]JORTC、[8]東京慈恵会医科大学、[9]名古屋市立大学大学院医学研究科、[10]順天堂大学医学部付属練馬病院メンタルクリニック

23-10-O58-7　病院薬剤師による特定臨床研究の盲検化支援の取り組み

○後藤　洋仁、若杉　正、松井　周一、小森　智也、小池　博文
横浜市立大学附属病院薬剤部

11月23日(月・祝)　　第12会場（ホテル日航金沢　3F　ルミエール）

一般演題(口頭)50　　8:45〜9:45

周術期1

座長：添田　博（東京医科大学病院薬剤部）
川田　敬（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野）

23-12-O50-1　**周術期薬剤管理における術前休薬指示漏れに関連する要因の探索**

○松尾　純、小澤　秀介、上松　祐貴、内藤　隆文
信州大学医学部附属病院薬剤部

23-12-O50-2　**手術室専任薬剤師による術前中止薬の術後再開支援業務の評価**

○高田　容希、小川　智孝、村上　栞、増川　みなみ、北川　香織、河口　義隆
社会医療法人愛仁会明石医療センター技術部薬剤科

23-12-O50-3　**Excelマクロを用いた術前休薬チェックシートの開発および業務効率と安全性の検証**

○森　泰毅、嶺　豊春、中川　博雄、兒玉　幸修、大山　要
長崎大学病院薬剤部

23-12-O50-4　**術後疼痛管理チームによるアセトアミノフェンやNSAIDsを用いた多角的鎮痛法の推進の効果**

○岩間　創[1]、笠垣　貴大[1]、坂上　進[1]、小澤　秀介[1]、土屋　広行[1]、石田　公美子[2]、田中　聡[2]、内藤　隆文[1]
[1]信州大学医学部附属病院薬剤部、[2]信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科

23-12-O50-5　**当院における術後疼痛管理チームの活動状況と今後の課題**

○佐々木　美理
済生会横浜市南部病院薬剤部

一般演題(口頭)53　　9:45〜10:45

周術期2

座長：添田　博（東京医科大学病院薬剤部）
川田　敬（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野）

23-12-O53-1　**術前における術後悪心嘔吐リスク共有体制の段階的変化が術後悪心嘔吐発症率や予防的制吐薬使用状況に与える影響の評価**

○須賀　明輝、工藤　閑、瀬戸　亘、八木澤　啓司、篠塚　彩乃、天野　祐太、佐藤　彩伽、和淵　彩乃、高橋　侑奨、本川　茉依、齋藤　靖弘、徳留　章、木明　貴幸
札幌東徳洲会病院薬剤部

23-12-O53-2　**病棟薬剤師介入による過体重の人工膝関節置換術症例における予防的セファゾリン増量投与の改善効果**

○中川　圭司[1,3]、坂田　洋[1]、田中　伸明[1]、中村　敏史[2]
[1]春日井市民病院薬剤局薬剤科、[2]春日井市民病院薬剤局、[3]愛知学院大学大学院薬学研究科

23-12-O53-3　**白内障術後の真菌性眼内炎複数発生事例に関する臨床的検討**

○吉田　博昭
杏林大学医学部付属病院感染制御部

23-12-O53-4　**抗コリン作用を有する薬剤使用と術後合併症の予測指標との関連**

○釜野　純二、三木　賢人、小西　正晃
さぬき市民病院薬剤科

23-12-O53-5　急性大動脈解離Stanford A型の緊急弓部置換術における経口FXa阻害薬内服患者の周術期転帰の検討

○磯部　賢樹、大森　俊和、米内　洸、臼田　昌弘、寺林　晃輝
川崎幸病院薬剤部

一般演題(口頭)56　11:00～12:00

AI・DX

座長：嶋田　努（金沢大学医薬保健研究域薬学系）
二木　悠哉（金沢大学附属病院薬剤部）

23-12-O56-1　薬局薬剤師の在宅医療におけるAIを用いた情報共有システムの構築・運用と臨床的有用性
～慢性期から終末期医療まで～

○山崎　健吾、宮坂　善之、宮本　智子、菊池　俊、齋藤　雄亮、猪苅　良祐、橋場　剛、對馬　凜、兼好　真里、田口　圭三
リジョン薬局厚別

23-12-O56-2　生成AIを用いた院内用法表現から電子処方箋用法への変換における精度評価

○久保　靖憲[1]、神山　直也[1,2]、中馬　真幸[1]、田崎　嘉一[1]
[1]旭川医科大学病院薬剤部、[2]旭川医科大学病院臨床研究支援センター

23-12-O56-3　演題取り下げ

23-12-O56-4　生成AI（GPT-4.1）を活用した電子カルテ要約によるAST業務の効率化：前後比較研究

○福田　正悟[1]、上蓑　義典[1,2]、袴田　潤[3]、中村　文子[3]、木村　元範[3]、瀬山　翔史[4,5]、橋本　正弘[7]、横山　諒一[7]、正好　奏斗[7]、大谷　壽一[3]、南宮　湖[6]
[1]慶應義塾大学病院感染制御部、[2]慶應義塾大学医学部臨床検査医学、[3]慶應義塾大学病院薬剤部、
[4]東京薬科大学薬学部臨床微生物学教室、[5]慶應義塾大学医学部病院薬剤学教室、
[6]慶應義塾大学医学部感染症学教室、[7]慶應義塾大学病院放射線科

23-12-O56-5　模擬患者役に生成AIを活用したスモールグループディスカッションのプロンプト開発とがん領域の臨床推論教育への応用

○辻村　行啓[1]、都甲　海[1]、北川　晶子[1]、大石　大祐[1]、鈴木　孝典[1]、栗原　啓輔[2]、平川　聡史[3]、矢部　勝茂[1]
[1]聖隷浜松病院薬剤部、[2]聖隷三方原病院薬剤部、[3]聖隷浜松病院支持医療科

一般演題(口頭)59　14:00～15:24

ユニークな研究・その他2

座長：嶋田　努（金沢大学医薬保健研究域薬学系）
二木　悠哉（金沢大学附属病院薬剤部）

23-12-O59-1　対人関係における距離と生体信号の関係に関する研究

○山際　榛野[1]、宮城　雪菜[2]、宮地　佑佳[2]、牛腸　沙織[3]、仲山　千佳[4]、大嶋　耐之[2]
[1]金城学院大学大学院薬学研究科、[2]金城学院大学薬学部、[3]名古屋掖済会病院薬剤部、[4]岐阜医療科学大学薬学部

23-12-O59-2　日本語版LGBT-DOCSSを用いた大分県病院薬剤師におけるLGBTに対する態度・基礎知識・臨床的準備・臨床トレーニングの実態調査

○原田　紗希[1]、佐藤　史織[1]、菅田　哲治[2,3]、陸丸　幹男[1]
[1]大分市医師会立アルメイダ病院薬剤部、[2]西田病院薬剤部、[3]大分県病院薬剤師会

23-12-O59-3　演題取り消し

23-12-O59-4　アミカシン関連急性腎障害を予測するリスクスコアの開発と外部検証

○松木　祥彦[1]、小島　雄太郎[2]、清水　優貴[3]、實川　東洋[4]、佐古　兼一[5]、門田　佳子[6]、渡部　多真紀[1,7]、安野　伸浩[1,7]、柏倉　康治[1]
[1]帝京大学薬学部、[2]柏厚生総合病院薬剤科、[3]国際医療福祉大学市川総合病院薬剤部、
[4]日本医科大学千葉北総病院薬剤部、[5]日本薬科大学薬学部、[6]東京歯科大学口腔科学研究センター、
[7]帝京大学医学部附属病院薬剤部

23-12-O59-5　アゾール系抗真菌薬の免疫調節作用に関連する構造的特徴の検討

○榊原　一考[1]、中川　俊作[1]、梅村　圭祐[1]、幾田　慧子[1]、勝部　友理恵[1]、今吉　菜月[1]、重面　雄紀[1]、平　大樹[1,2]、寺田　智祐[1]
[1]京都大学医学部附属病院薬剤部、[2]京都大学大学院薬学研究科

23-12-O59-6　微生物検査体制を持たない病院における薬剤師主導グラム染色導入の実装と課題

○井上　智陽、田中　仁美、本多　優太、愛路　裕介、永田　和代
医療社団法人聖十字会西日本病院薬剤部

23-12-O59-7　薬局の調剤データを用いた地域における外来抗菌薬Watch群の可視化と共有論点の抽出

○岸野　友紀[1,2]
[1]株式会社ファルモ学術研究室、[2]帝京大学大学院公衆衛生学研究科

11月23日(月・祝)　　第17会場（ホテル金沢　4F　風月の間）

一般演題(口頭)51　　8:45～9:45

薬剤疫学

座長：森　英樹（岡山赤十字病院薬剤部）
赤瀬　朋秀（日本経済大学大学院経営学研究科）

23-17-O51-1　NDBオープンデータを用いた脳卒中既往と生活習慣の関連に関する全国横断解析― 集計データが示す公衆衛生的示唆 ―

○地嵜　悠吾、今西　孝至、津島　美幸、北田　徳昭
京都薬科大学臨床薬学教育研究センター

23-17-O51-2　野々市市KDBを用いたポリファーマシー予防に向けた発生前リスク因子の探索

○前田　音羽、星野　伊音、石田　奈津子、有原　大貴、渡辺　宏晃、嶋田　努、菅　幸生、石崎　純子
金沢大学医薬保健研究域薬学系

23-17-O51-3　薬剤関連要因が要介護認定に及ぼす影響―国保データベースを用いた後ろ向きコホート研究

○湊　千真[1]、明石　日菜子[1]、山本　邦子[2]、原田　魁成[3]、藤田　有美[4]、嶋田　努[5]、川上　貴裕[2]、石本　尚大[2]、崔　吉道[2]
[1]金沢大学医薬保健学域薬学類、[2]金沢大学附属病院薬剤部、[3]金沢大学人間社会研究域経済学経営学系、
[4]慶應義塾大学薬学部薬学科、[5]金沢大学医薬保健研究域薬学系

23-17-O51-4　高血圧患者における心理的苦痛と服薬アドヒアランスの関係:全国インターネット調査に基づく横断研究

○久保田　健[1]、石川　修平[2]、吉田　寛輝[3,4]、田淵　貴大[5]
[1]JA長野厚生連北信総合病院薬剤部、[2]北海道大学病院精神科神経科、[3]北海道大学大学院医学院公衆衛生学教室、
[4]株式会社データシード、[5]東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

23-17-O51-5　**薬剤師による介入型薬剤疫学研究の実践～アカデミック・ディテーリング介入のアウトカム評価モデル開発～**

○小茂田　昌代[1,2]、大沼　真季[2,3]、池田　由紀[2,4]、馬場　喜弓[2,5]、龍　伸和[2,6]、岩井　まりな[2,7]
[1]千葉西総合病院薬剤部、[2]日本アカデミック・ディテーリング研究会、[3]株式会社メディパルホールディングス、[4]株式会社ユニスマイル、[5]順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部、[6]富山大学附属病院薬剤部、[7]株式会社メディセオ

一般演題(口頭)54　9:45～10:45

医療政策・医療経済

座長：森　英樹（岡山赤十字病院薬剤部）
赤瀬　朋秀（日本経済大学大学院経営学研究科）

23-17-O54-1　**院内フォーミュラリによる医薬品費削減効果の検証**

○橋本　美紀恵、九良賀野　司、加藤　敦
富山大学附属病院薬剤部

23-17-O54-2　**小児在宅医療サービスを提供する薬局の分布における地域差に関する実態調査**

○西野　文那[1]、野田　清花[1]、野々村　和哉[1,2]、玉木　啓文[1]、長内　理大[1]、中村　光浩[3]、井口　和弘[1]
[1]岐阜薬科大学薬局薬学研究室、[2]まみや調剤薬局、[3]岐阜薬科大学医薬品情報学研究室

23-17-O54-3　**COVID-19院内感染に伴う出来高換算診療報酬の増分推定：因果推論手法を用いた単施設後ろ向きコホート研究**

○工藤　正治[1,2,3]、若杉　健弘[4]、堀内　実[5]、福田　範子[1,6]、森田　康之[7]、田島　英子[6]、橋本　功[2]、日比　陽子[3]、長谷川　千尋[1,8]
[1]名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院感染制御室、[2]名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院薬剤部、[3]名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学分野、[4]名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院消化器・一般外科、[5]名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院呼吸器・アレルギー内科、[6]名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院看護部、[7]名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院中央検査部、[8]名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院感染症・総合内科

23-17-O54-4　**GLP-1受容体作動薬Wegovyの偽造・低品質医薬品判別における蛍光分光法の有用性評価**

○清水　勇芽[1]、中島　花奈[1]、吉田　直子[1,2]
[1]金沢大学医薬保健学域薬学類、[2]岡山大学学術研究院医歯薬学域（薬学系）

23-17-O54-5　**国際流通するGLP-1受容体作動薬の国内侵入実態調査**

○野村　翠[1]、吉田　直子[1,2]
[1]金沢大学医薬保健研究域薬学系臨床薬学、[2]岡山大学学術研究院医歯薬学域（薬学系）医薬品信頼性科学分野

一般演題(口頭)57　11:00～12:00

糖尿病・腎疾患

座長：岡田　守弘（北陸大学薬学部）
中川　祐紀子（金沢大学附属病院薬剤部）

23-17-O57-1　**2型糖尿病患者におけるDPP-4阻害薬関連血小板減少の実態解析**

○前多　愛生[1]、熊谷　優美[1]、高江洲　将太[1]、茅野　尚希[2]、嵐　達哉[2]、米澤　美和[2]、岡田　守弘[1]
[1]北陸大学薬学部薬学科、[2]石川県立中央病院薬剤部

23-17-O57-2　経口セマグルチド服用患者の治療継続における有害事象とフォローアップの影響

○大澤　隆志[1,2]、中村　哲[3]、大浦　悠竜[4]、松村　卓[5]
[1]スプルー・メディカル株式会社学術・研修部、[2]このみ薬局高林店、[3]このみ薬局浜北店、[4]このみ薬局小池店、[5]スプルー・メディカル株式会社本部

23-17-O57-3　心房細動患者における直接作用型経口抗凝固薬の投与量が腎機能低下に与える影響

○渡部　紘三[1]、三浦　基靖[2]、林　豊[1]、内田　信也[2]
[1]焼津市立総合病院薬剤部、[2]静岡県立大学大学院薬学専攻実践薬学講座

23-17-O57-4　血液透析患者におけるリン吸着薬からテナパノルへの一部切り替え前後の服薬時飲水量の変化

○鈴木　寛[1]、森國　優花[2]、三浦　基靖[2]、小川　裕子[1]、漆畑　理帆[1]、幾田　志保[1]、影山　慎二[3]、山内　克哉[1]、内田　信也[2]
[1]株式会社やまうち薬局、[2]静岡県立大学薬学部実践薬学分野、[3]医療法人社団灯弘会かげやま医院

23-17-O57-5　プレガバリン・ミロガバリンの腎機能に基づく用量適正性評価と処方遵守状況の実態調査

○寺内　恭平[1,2]、安藤　洋介[2]、中山　貴美也[1]、山田　成樹[2]
[1]藤田医科大学ばんたね病院薬剤部、[2]藤田医科大学医学部薬物治療情報学

一般演題(口頭)60　14:00〜15:24

教育・災害

座長：岡田　守弘（北陸大学薬学部）
中川　祐紀子（金沢大学附属病院薬剤部）

23-17-O60-1　大学病院からの薬剤師出向により薬剤師不足施設の薬剤業務体制に与える影響

○吉田　真人[1]、近藤　匡慶[1]、高田　智子[2]、小佐田　敬子[2]、菅谷　りょうとし[1]、林　太祐[1]
[1]日本医科大学多摩永山病院薬剤部、[2]野猿峠脳神経外科病院薬局

23-17-O60-2　JA広島総合病院における出向事業への参加が残留した薬剤師に与えた影響

○平井　俊明、向井　一樹、白井　敦史、正畠　和美、角井　碧、森生　美和、松本　里恵、礒貝　明彦、中島　恵子
JA広島総合病院薬剤部

23-17-O60-3　金沢医科大学病院の公立穴水総合病院派遣業務内容と今後の展望について

○村山　広貴[1]、池田　真菜[1]、荒川　希美[1]、真舘　育子[1]、木村　莉菜[1]、八重樫　允徳[1]、山本　康人[1]、高橋　喜統[1]、中山　晃次[2]、政氏　藤玄[1]
[1]金沢医科大学病院薬剤部、[2]公立穴水総合病院薬剤部

23-17-O60-4　済生会横浜市南部病院における薬剤師教育体制構築とその成果

○深沢　貴志、鹿島　弥生、高木　淳也、海野　祥生、佐々木　美理、生田　和之、田辺　真里、藤巻　智則、平間　盛吾、上原　美佐、加藤　一郎
済生会横浜市南部病院薬剤部

23-17-O60-5　薬学生がインタビュー対象として参加した医学部の多職種連携教育―キャラ化ワークショップの実践と成果―

○西川　正志[1]、高野　克彦[2]、佐藤　妃映[3]、關谷　暁子[3]、竹島　英祐[4]
[1]金沢医科大学医学部医学教育学、[2]北陸大学薬学部薬学科、[3]北陸大学医療保健学部医療技術学科、[4]北陸大学医療保健学部理学療法学科

23-17-O60-6　大規模災害を想定した薬剤部アクションカードを用いた災害訓練の実施およびアンケート調査

○志村　美沙子、長井　絵里奈、小森　智也、後藤　洋仁、若杉　正、小池　博文
公立大学法人横浜市立大学附属病院薬剤部

23-17-O60-7　薬学部実習生を対象とした災害医療合同WEB講義の教育効果の検討

○田浦　稔基[1]、加藤　恭平[2]、成田　拓弥[3]、西山　裕也[4]、柳川　拓哉[5]、吉川　瑞帆[5]、
藤戸　靖久[6]、坂口　結斗[7]、武田　瑛司[8]、岩野　紗樹乃[9]
[1]生駒市立病院・薬剤部、[2]古河総合病院・薬剤部、[3]札幌東徳洲会病院・薬剤部、[4]岸和田徳洲会病院・薬剤部、
[5]四街道徳洲会病院・薬剤部、[6]宇治徳洲会病院・薬剤部、[7]中部徳洲会病院・薬剤部、[8]札幌徳洲会病院・薬剤部、
[9]武蔵野徳洲会病院・薬剤部

11月21日(土)　第5会場（ANAクラウンプラザホテル金沢　3F　瑞雲）

International Session ①　15:40〜16:40

Chairs：Yoshikazu Tasaki (Department of Pharmacy, Asahikawa Medical University Hospital)
Kazuo Kobayashi (Department of Pharmacy, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research)

IO1-1 A Real-World Data-Based Investigation of Buccal Midazolam Use in School-Age Children in Japan

○Haruka Akahoshi[1], Soichiro Ushio[1], Satoru Esumi[2], Keishi Kawamitsu[1], Chihiro Shiraishi[1], Kazuhiko Ono[3], Koji Tominaga[3], Toshinobu Hayashi[1], Takashi Egawa[1]
[1]Department of Pharmaceutical Sciences for Health Crisis Management, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Fukuoka University, [2]Department of Clinical Drug Evaluation, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Kobegakuin University, [3]Department of Community Health Care and Pharmaceutical Science, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Fukuoka University

IO1-2 Occurrence and time-to-onset of cytomegalovirus infection in patients treated with first- and second-generation Bruton's tyrosine kinase inhibitors: a retrospective analysis of the Japanese Adverse Drug Event Report database

○Kaori Ito[1,2,3], Koki Kato[3,4], Misaki Morisaku[3], Shigeki Yamada[3,4], Nobuki Hayakawa[1]
[1]Faculty of Pharmacy, Meijo University, [2]Department of Hematology, Fujita Health University School of Medicine, [3]Department of Pharmacy, Fujita Health University Hospital, [4]Department of Pharmacotherapeutics and Informatics, Fujita Health University School of Medicine

IO1-3 Comparative Patient-Reported Outcomes and Adverse Symptom Profiles of Dual Orexin Receptor Antagonists and Benzodiazepine Receptor Agonists in Real-World Clinical Practice

○Masaki Maehara[1,2], Masayasu Sugiyama[1], Motohiro Ozone[3], Junpei Mutoh[4], Kanta Noguchi[4], Mitsuhiro Wada[2,4]
[1]Sugiyama Pharmacy, [2]Graduate School of Pharmaceutical Science, Sanyo-Onoda City University, [3]Department of Neuropsychiatry, Kurume University School of Medicine, [4]Faculty of Pharmaceutical Science, Sanyo-Onoda City University

IO1-4 Cancer incidence among patients with chronic kidney disease across area-level PM2.5 gradients in Japan: An administrative claims data analysis

○Miki Nagata[1,2], Haruki Funakoshi[1], Thanawat Khongyot[3], Teerapat Majam[3], Aungkana Chuaychai[3], Tanavij Pannoi[3], Kenji Momo[4]
[1]Division of Hospital Pharmaceutics, Department of Hospital Pharmaceutics, School of Pharmacy, Showa University, [2]Showa Medical University East Hospital, Pharmacy, [3]School of Pharmacy, Walailak University, [4]Division of Clinical Research, Department of Hospital Pharmaceutics, School of Pharmacy, Showa University

IO1-5 Sodium–Glucose Cotransporter-2 Inhibitor Use After Hospitalization for Genitourinary Infection: A Retrospective Cohort Study of US Veterans

○Shungo Imai[1,2], Michihiko Goto[1,3], Kathleen Robinson[1,3], Masaaki Yamada[1,3,4], Mary Vaughan-Sarrazin[1], Hiroyuki Suzuki[1,3,4]
[1]Department of Internal Medicine, University of Iowa, Iowa City, Iowa, USA., [2]Division of Drug Informatics, Keio University Faculty of Pharmacy, Tokyo, Japan, [3]Center for Access & Delivery Research & Evaluation, Iowa City Veterans Affairs Health Care System, Iowa City, Iowa, USA., [4]Veterans Rural Health Resource Center-Iowa City, VA Office of Rural Health, Iowa City, Iowa, USA.

International Session ② 16:40～17:28

Chairs：Toshiya Katsura (College of Pharmaceutical Sciences, Ritsumeikan University)
Takanori Taogoshi (Department of Pharmacy, Hiroshima University Hospital)

IO2-1 Pharmacokinetic interaction between nirmatrelvir/ritonavir and nifedipine: A case report

○Tomoki Takase[1,2], Hirokazu Kuroda[3], Keizo Fukushima[1], Toshihiko Oda[2], Saki Masumoto[2], Takanobu Nadai[1]*, Takumi Hotta[1], Shoji Fukushima[1], Manabu Kume[2], Tohru Hashida[1,2], Nobuyuki Muroi[2]
[1]Faculty of Pharmaceutical Science, Kobe Gakuin University, [2]Department of Pharmacy, Kobe City Medical Center General Hospital, [3]General Medicine, Fujita Health University Okazaki Medical Center, *Present address：Division of Translational and Clinical Pharmacology, Cincinnati Children's Hospital Medical Center, Cincinnati, Ohio, USA

IO2-2 演題取り下げ

IO2-3 Association of maternal diabetes and asthma with childhood asthma using real-world data

○Airi Ishikawa[1], Laila Aboulatta[2], Sherif Eltonsy[2,3], Kenji Momo[4]
[1]Department of Pharmacy, Showa Medical University Fujigaoka Hospital, [2]College of Pharmacy, Rady Faculty of Health Sciences, University of Manitoba, Canada, [3]The Children's Hospital Research Institute of Manitoba, Manitoba, Canada, [4]Division of Clinical Research, Department of Hospital Pharmaceutics, School of Pharmacy, Showa Medical University

IO2-4 Pharmacometric evaluation of maribavir exposure in liver and lung transplant recipients: A case series

○Keisuke Umemura[1], Ayami Kishimoto[1,2], Shunsaku Nakagawa[1], Yoshiki Katada[1,3], Taiga Osawa[1], Miho Takemura[1], Keiko Ikuta[1], Yurie Katsube[1], Natsuki Imayoshi[1], Yuki Shigetsura[1], Daiki Hira[1,4], Miki Nagao[3,5], Tomohiro Terada[1]
[1]Department of Clinical Pharmacology and Therapeutics, Kyoto University Hospital., [2]Faculty of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University., [3]Department of Infection Control and Prevention, Kyoto University Hospital., [4]Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University., [5]Department of Clinical Laboratory Medicine, Graduate School of Medicine, Kyoto University.

IO2-5 Pregnancy outcomes after first-trimester exposure to orexin receptor antagonists and ramelteon: Findings based on data from the teratology information institutes in Japan.

○Yoriko Miura[1,3], Naho Yakuwa[2], Mikako goto[2], Miki Akabane[1], Masayuki Ishikawa[3,4], Masashi Uchida[3,4], Shingo Yamazaki[3,4], Itsuko Ishii[3,4], Koushi Yamaguchi[2]
[1]Department of Pharmacy, National Center for Child Health and Development, [2]Japan Drug Information Institute in Pregnancy, Integrated Center for Women's Health, National Center for Child Health and Development, [3]Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Chiba University, Chiba, Japan., [4]Division of Pharmacy, Chiba University Hospital